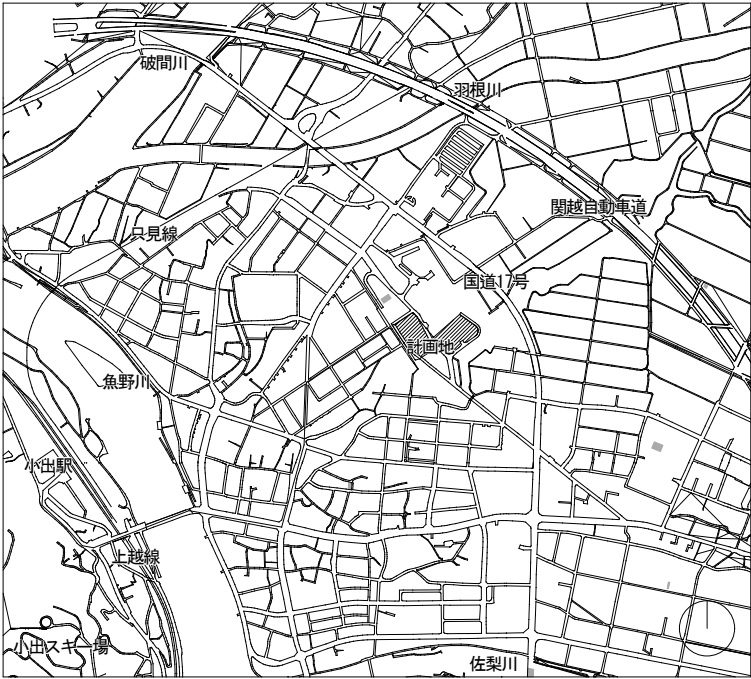


令和 6 年度

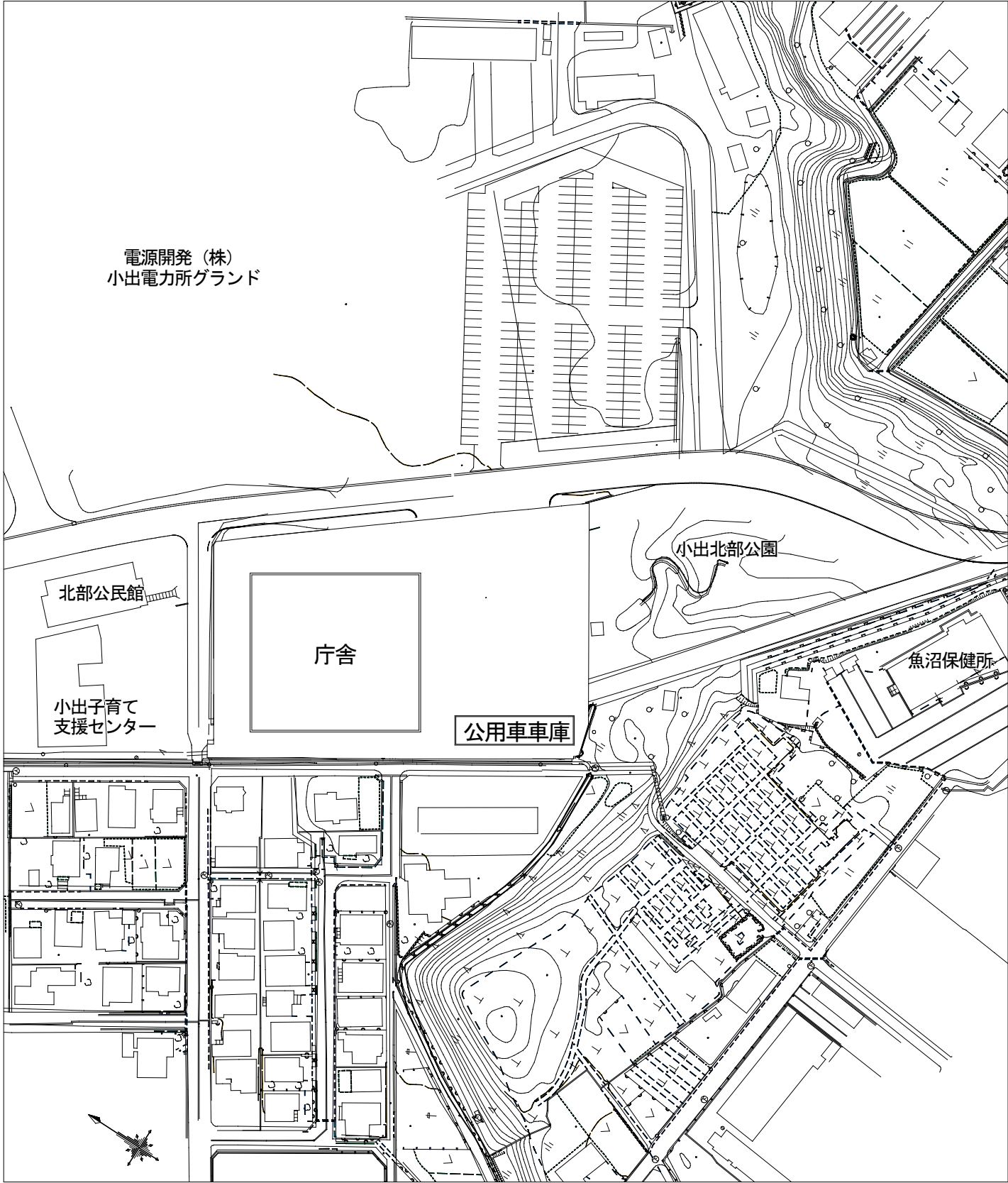
# 魚沼市役所本庁舎冷温水発生機等増設工事

図面番号	意匠 図面名称	図面番号	意匠 図面名称	図面番号	
M - 0 1	案内図・付近見取図	M - 1 6	自動制御設備 中央監視装置システム図		
M - 0 2	機械設備特記仕様書（その 1）	M - 1 7	自動制御設備 中央管理点表		
M - 0 3	機械設備特記仕様書（その 2）	M - 1 8	自動制御設備 2階・PH階平面図		
M - 0 4	機械設備改修共通図				
M - 0 5	PH階機械室平面図	E - 0 1	電気設備特記仕様書（その 1）		
M - 0 6	PH階機械室平面図（衛生設備改修前）	E - 0 2	電気設備特記仕様書（その 2）		
M - 0 7	PH階機械室平面図（衛生設備改修後）	E - 0 3	現況・改修 動力制御盤結線図		
M - 0 8	空調系統図（改修前）	E - 0 4	PH階機械室幹線・動力設備平面図（改修前）		
M - 0 9	空調系統図（改修後）	E - 0 5	PH階機械室幹線・動力設備平面図（改修後）		
M - 1 0	空調新設機器表				
M - 1 1	PH階機械室平面図（空調設備改修前）				
M - 1 2	PH階機械室平面図（空調設備改修後）				
M - 1 3	PH階機械室平面図（煙道詳細図）				
M - 1 4	自動制御設備 計装図（1）				
M - 1 5	自動制御設備 自動機器表・他				


有限会社サクライ設計



案内図 S=1:10000

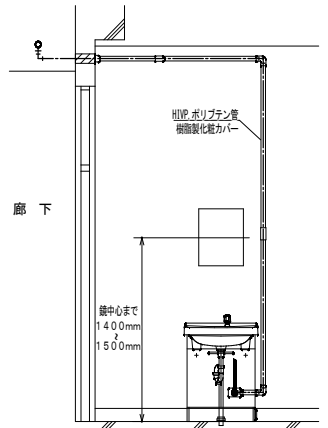
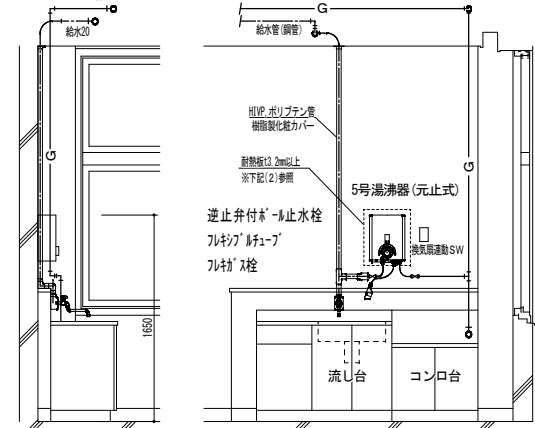
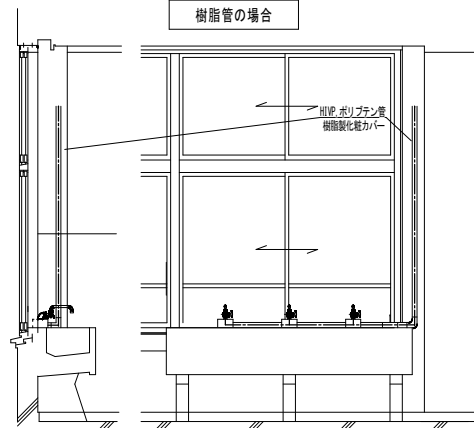
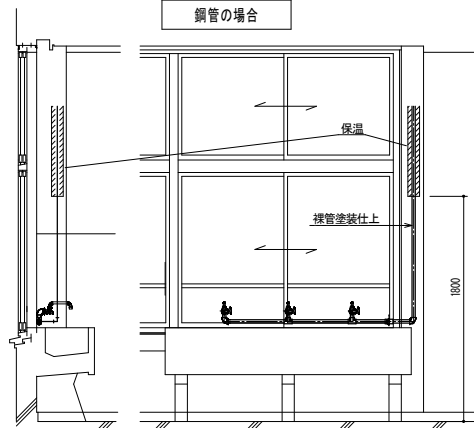
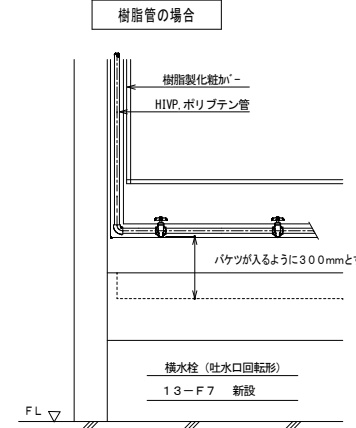
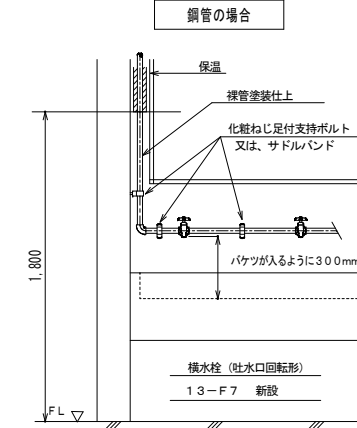
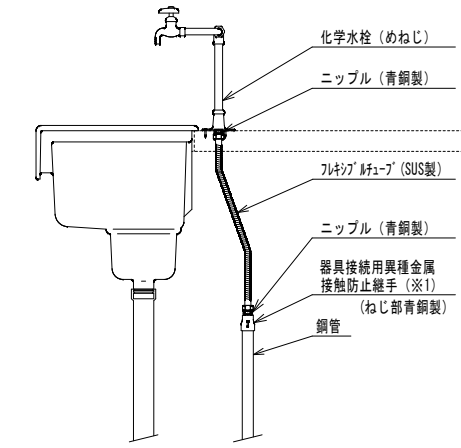
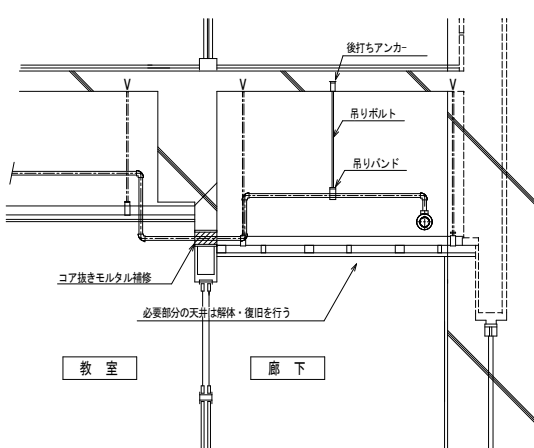
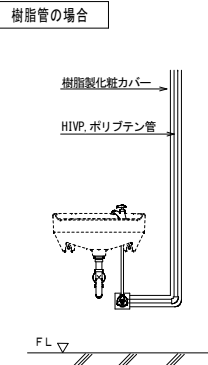
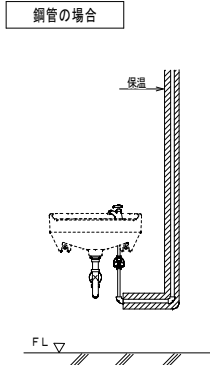
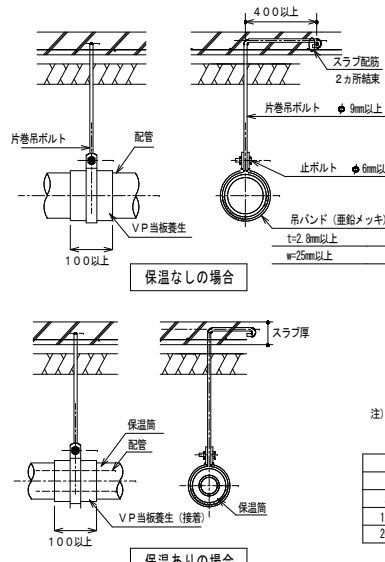
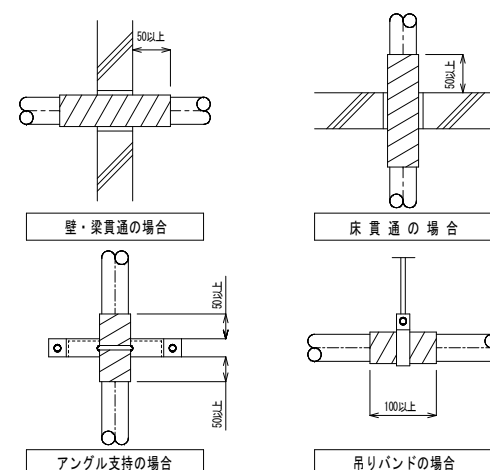
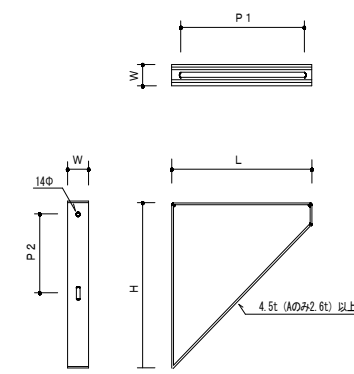
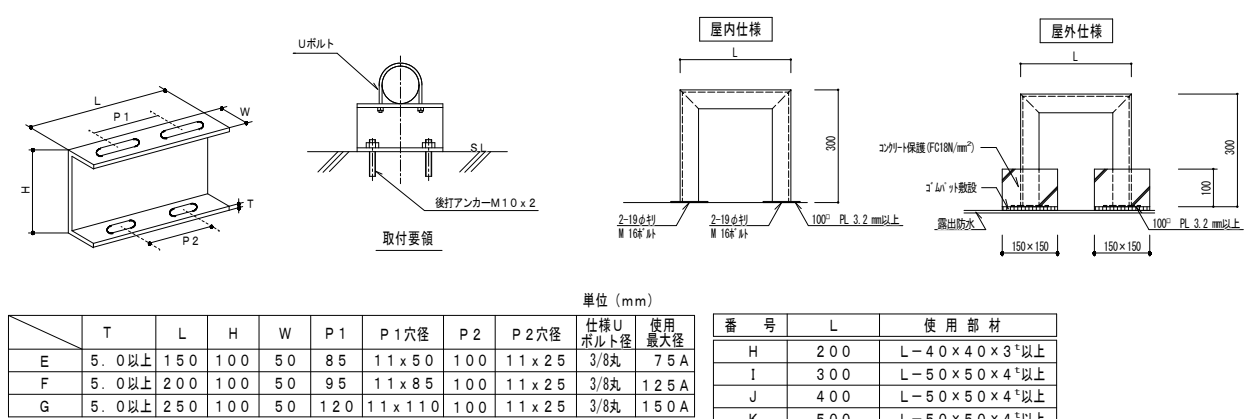


付近見取図 S=1:1600

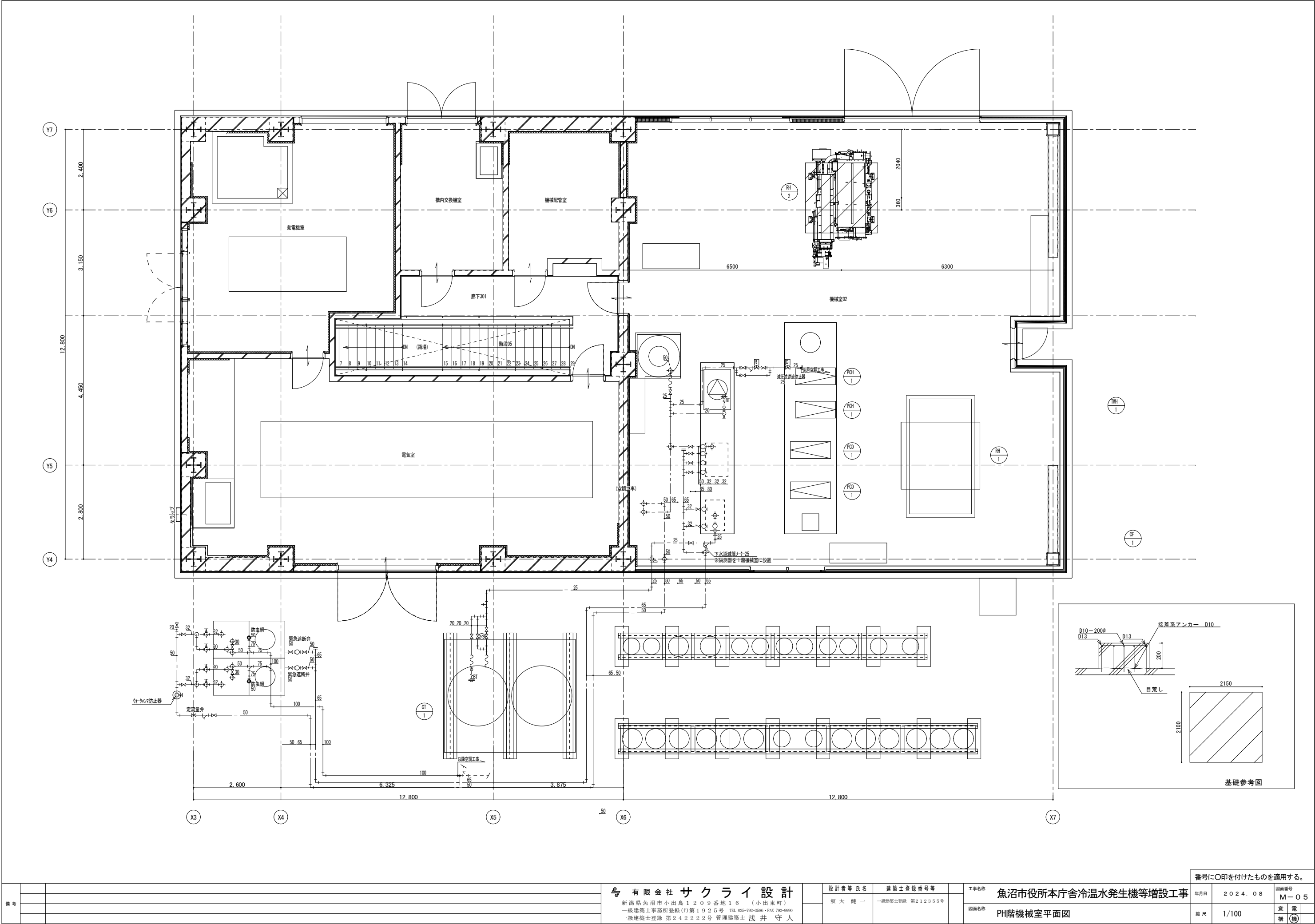
備考			<div><div></div><div>有限会社 サクライ 設計</div><div>新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町)</div><div>一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3386・FAX 792-9990</div><div>一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人</div></div>	設計者等氏名 坂大健一	建築士登録番号等 一級建築士登録 第212355号	工事名称 魚沼市役所本庁舎冷温水発生機等増設工事	年月日 2024.08	図面番号 M-01
						図面名称 案内図・付近見取図	縮尺 FREE	意電 模機

[illegible]

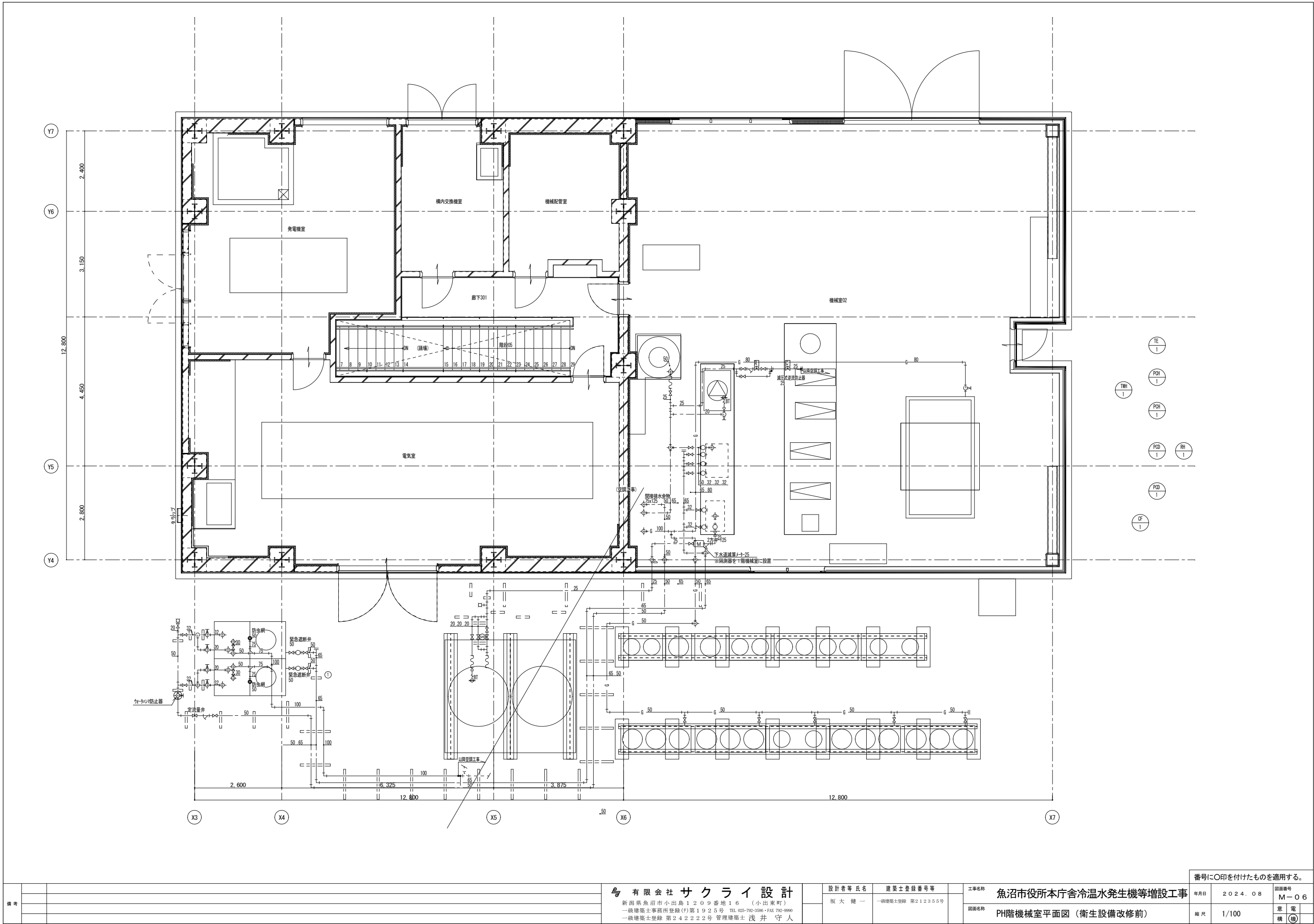


1	洗面化粧台廻り配管図	S=FREE	2	流し台廻り配管図(1)	S=1/60	3	流し台廻り配管図(2)	S=1/60	4	流し台廻り配管図(3)	S=1/60	5	水飲み場廻り配管図(1)	S=FREE	6	水飲み場廻り配管図(2)	S=FREE																															
 <p>(1) 化粧カバーは、壁色と同系色とする。 (2) 校長室、応接室等の上級室は、隣室から洗面化粧台裏の壁を貫通し、給水するものとする。</p>			 <p>(1) 換気扇連動スイッチは、電気工事へ支給とする。 (2) 湯沸器の取付面が可燃性でガス機器防火性能評定(一財)日本ガス機器検査協会)を取得していない機器を設置する場合は、背部に耐熱板(アルミニウム板で縁取りした3.2mm以上の耐火ボード)を設ける。 (3) 5号湯沸器(元止式)設置高さは、上端でFL+1650mmとし、出湯管の長さを調整する。</p>									 <p>(1) 横水栓(13-F7吐水口回転形) 新設 (2) 既設水栓撤去部モルタル充填補修</p>			 <p>(1) 横水栓(13-F7吐水口回転形) 新設 (2) 既設水栓撤去部モルタル充填補修</p>																																	
7	化学水栓接続要領	S=1/10	8	廊下一教室配管貫通断面図	S=1/40	9	洗面器廻り配管図(1)	S=1/40	10	洗面器廻り配管図(2)	S=1/40	11	土間配管吊金物施工要領	S=FREE																																		
 <p>(※1) 樹脂めねじの水栓接続用継手は使用してはならない。</p>						 <p>(1) 既設洗面器再取付け (2) 立水栓 新設 (3) 止水栓 新設 (4) Pトラップ 新設 (5) 既設給水管壁貫通部モルタル充填補修</p>			 <p>(1) 既設洗面器再取付け (2) 立水栓 新設 (3) 止水栓 新設 (4) Pトラップ 新設 (5) 既設給水管壁貫通部モルタル充填補修</p>			 <p>注) 1 銅管の場合は当板不用。 2 全ネジ支持棒は使用しない。</p> <table><tr><th>管径</th><th>管種</th><th>止ボルト</th><th>吊ボルト</th><th>吊り間隔</th></tr><tr><td>15~25</td><td>全て</td><td>6mm</td><td>6mm</td><td>1m</td></tr><tr><td>32~100</td><td>全て</td><td>9mm</td><td>9mm</td><td>1m</td></tr><tr><td>125~150</td><td>全て</td><td>13mm</td><td>13mm</td><td>1m</td></tr><tr><td>200~250</td><td>全て</td><td>16mm</td><td>16mm</td><td>1m</td></tr></table>				管径	管種	止ボルト	吊ボルト	吊り間隔	15~25	全て	6mm	6mm	1m	32~100	全て	9mm	9mm	1m	125~150	全て	13mm	13mm	1m	200~250	全て	16mm	16mm	1m								
管径	管種	止ボルト	吊ボルト	吊り間隔																																												
15~25	全て	6mm	6mm	1m																																												
32~100	全て	9mm	9mm	1m																																												
125~150	全て	13mm	13mm	1m																																												
200~250	全て	16mm	16mm	1m																																												
12	躯体貫通部・配管支持部・防食テープ巻要領図		13	配管支持用ブラケット参考図(既製品)	S=1/20	14	配管支持用アングル架台参考図	S=FREE																																								
 <p>注) コンクリート貫通部や支持材及び吊り材が配管と異種金属の場合プラスチックテープを巻く。 プラスチックテープは、1/2重ね1回巻きとする。 配管塗装仕上を行う場合、防食テープ上は塗装を行わない。 合成樹脂を被覆した支持金具及び固定金具を用いる場合は、テープ巻は不要とする。</p>			 <p>単位(mm)</p> <table><tr><th></th><th>L</th><th>H</th><th>W</th><th>P1</th><th>P2</th><th>支持加重</th></tr><tr><td>A</td><td>110</td><td>144</td><td>25</td><td>74</td><td>70</td><td>25kgf</td></tr><tr><td>B</td><td>200</td><td>231</td><td>38</td><td>158</td><td>140</td><td>65kgf</td></tr><tr><td>C</td><td>290</td><td>336</td><td>57</td><td>237</td><td>180</td><td>70kgf</td></tr><tr><td>D</td><td>380</td><td>437</td><td>57</td><td>337</td><td>240</td><td>70kgf</td></tr></table> <p>(防錆処理) 屋内隠ぺい: 塗装(錆止め) 屋内露出: 塗装(錆止め+合成樹脂調合ペイント) 屋外露出: 溶融亜鉛めっき(2種35、2種50)又はステンレス</p>				L	H	W	P1	P2	支持加重	A	110	144	25	74	70	25kgf	B	200	231	38	158	140	65kgf	C	290	336	57	237	180	70kgf	D	380	437	57	337	240	70kgf	 <p>(防錆処理) 屋内隠ぺい: 塗装(錆止め) 屋内露出: 塗装(錆止め+合成樹脂調合ペイント) 屋外露出: 溶融亜鉛めっき(2種35、2種50)又はステンレス</p>							
	L	H	W	P1	P2	支持加重																																										
A	110	144	25	74	70	25kgf																																										
B	200	231	38	158	140	65kgf																																										
C	290	336	57	237	180	70kgf																																										
D	380	437	57	337	240	70kgf																																										
備考						有限会社 サクライ 設計	設計者等氏名	建築士登録番号等	工事名称	魚沼市役所本庁舎冷温水発生機等増設工事																																						
						新潟県魚沼市小出島1209番地16(小出東町) 一級建築士事務所登録(〒)第1925号 TEL 025-792-3386・FAX 792-9990 一級建築士登録 第24222号 管理建築士 浅井 守人	坂 健一	一級建築士登録 第21235号	図面名称	機械設備改修共通図																																						
									年月日	2024.08	図面番号	M-04	縮尺	FREE 1/10 1/20 1/40 1/60	意 電	模 (機)																																





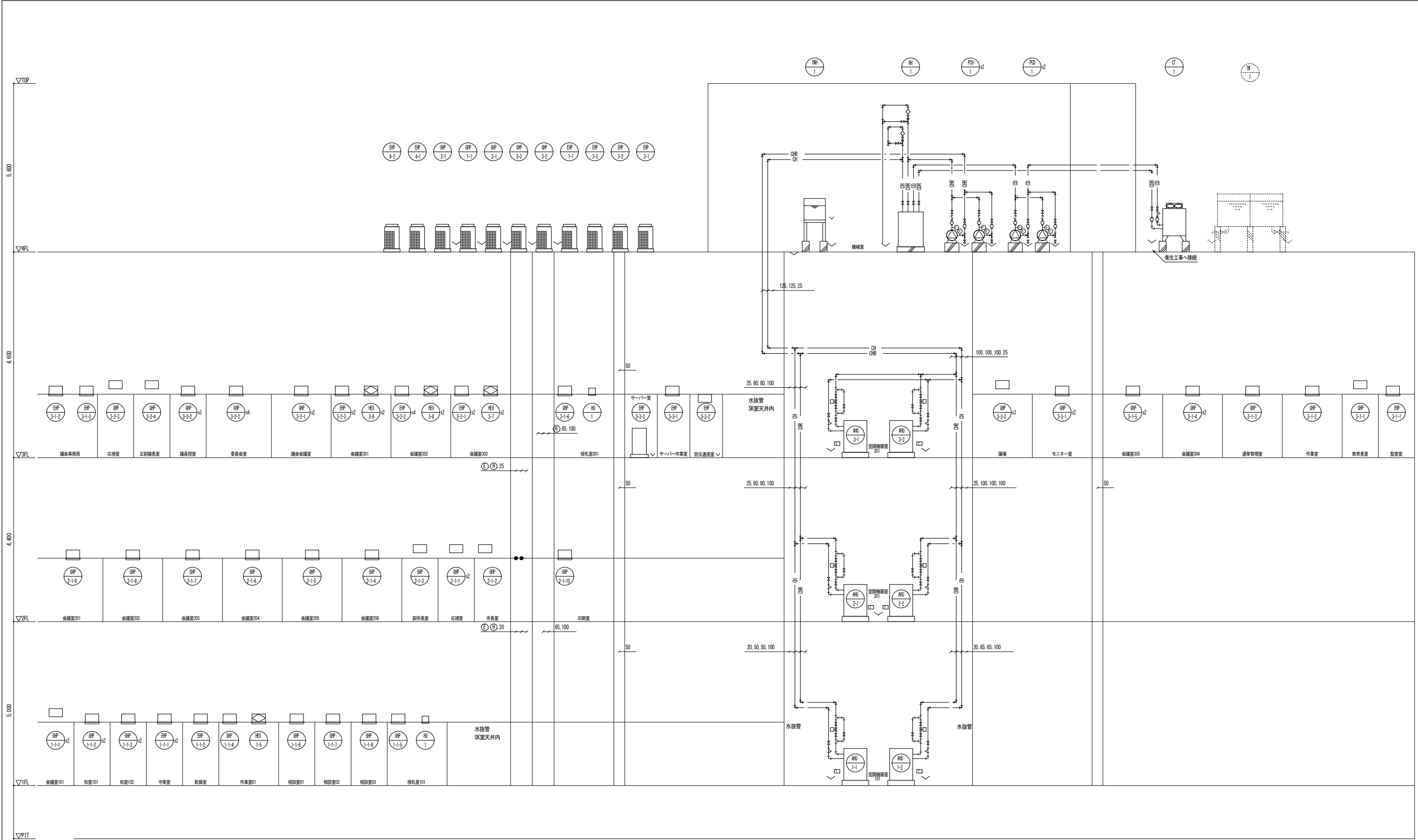
備考			有限会社 サクライ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(〒)第1925号 TEL 025-792-3386・FAX 792-9990 一級建築士登録 第24222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等氏名 坂大 健一	建築士登録番号等 一級建築士登録 第212355号	工事名称 魚沼市役所本庁舎冷温水発生機等増設工事 図面名称 PH階機械室平面図	番号に○印を付けたものを適用する。		
							年月日	2024.08	図面番号 M-05
							縮尺	1/100	意電 構機



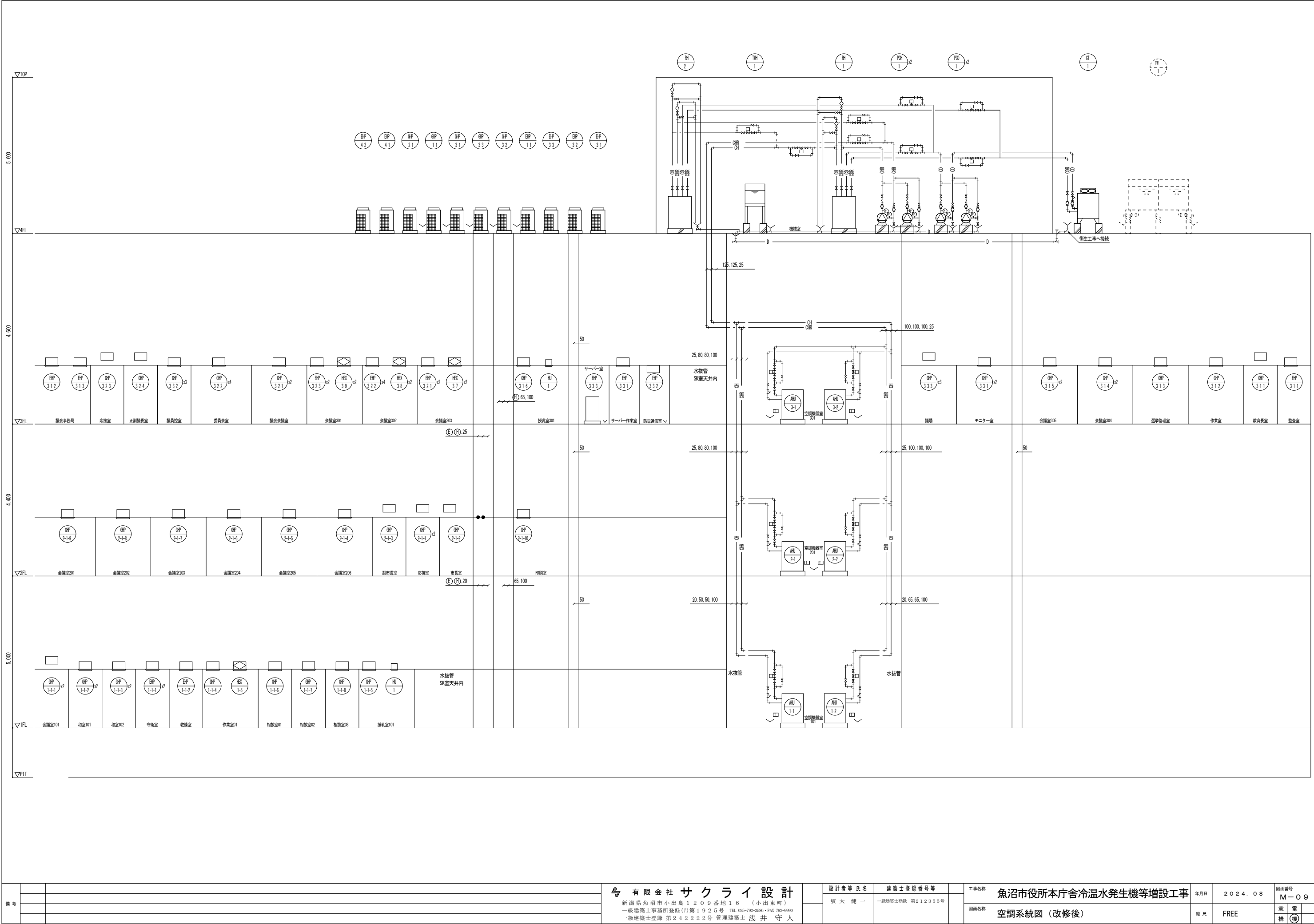
										番号に○印を付けたものを適用する。		
備考				有限会社 サクライ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(〒)第1925号 TEL 025-792-3386・FAX 792-9990 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等氏名 坂 大 健 一	建築士登録番号等 一級建築士登録 第212355号	工事名称 魚沼市役所本庁舎冷温水発生機等増設工事	年月日	2024.08	図面番号 M-06		
								図面名称 PH階機械室平面図 (衛生設備改修前)	縮 尺	1/100	意 電 構 機	



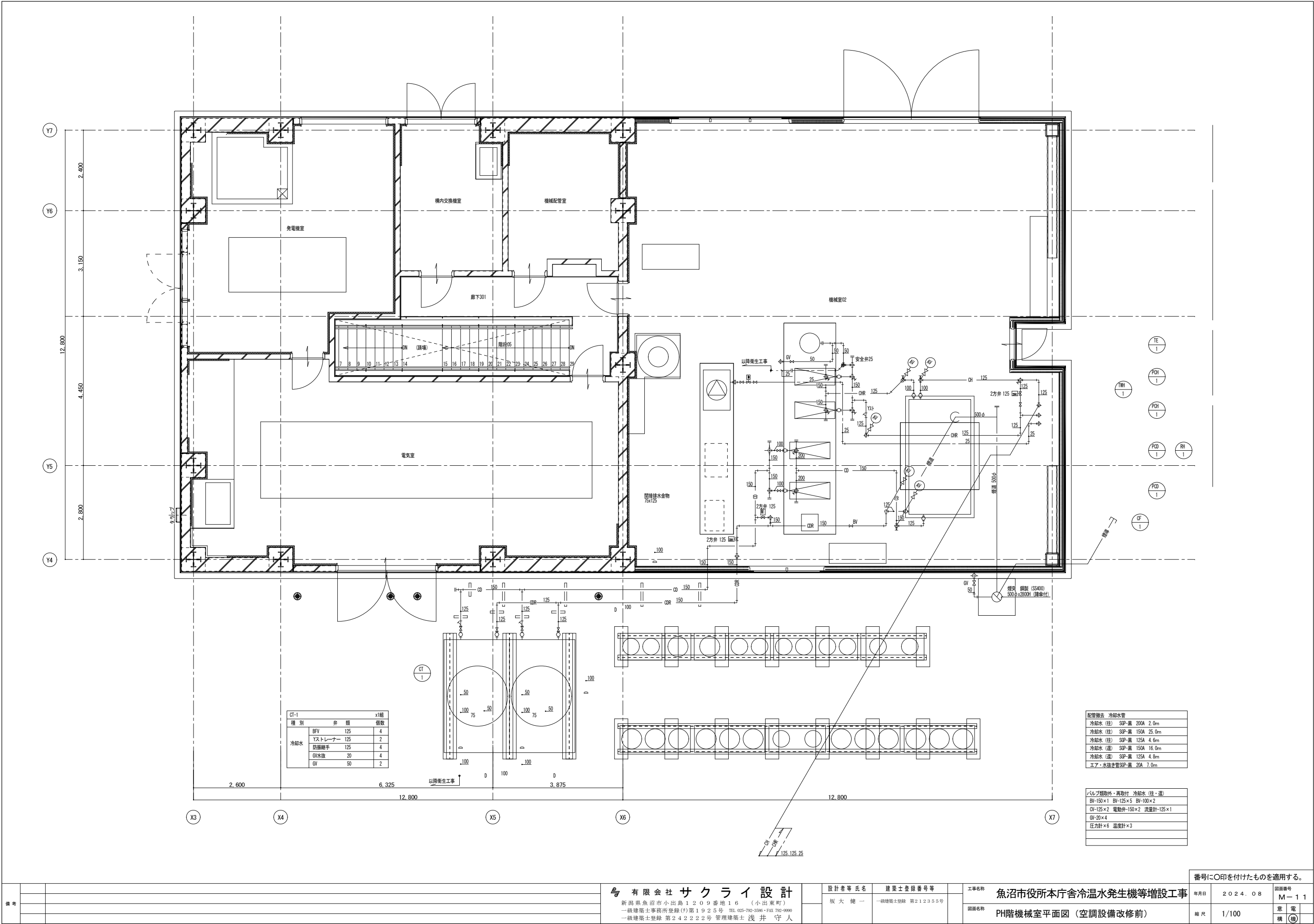


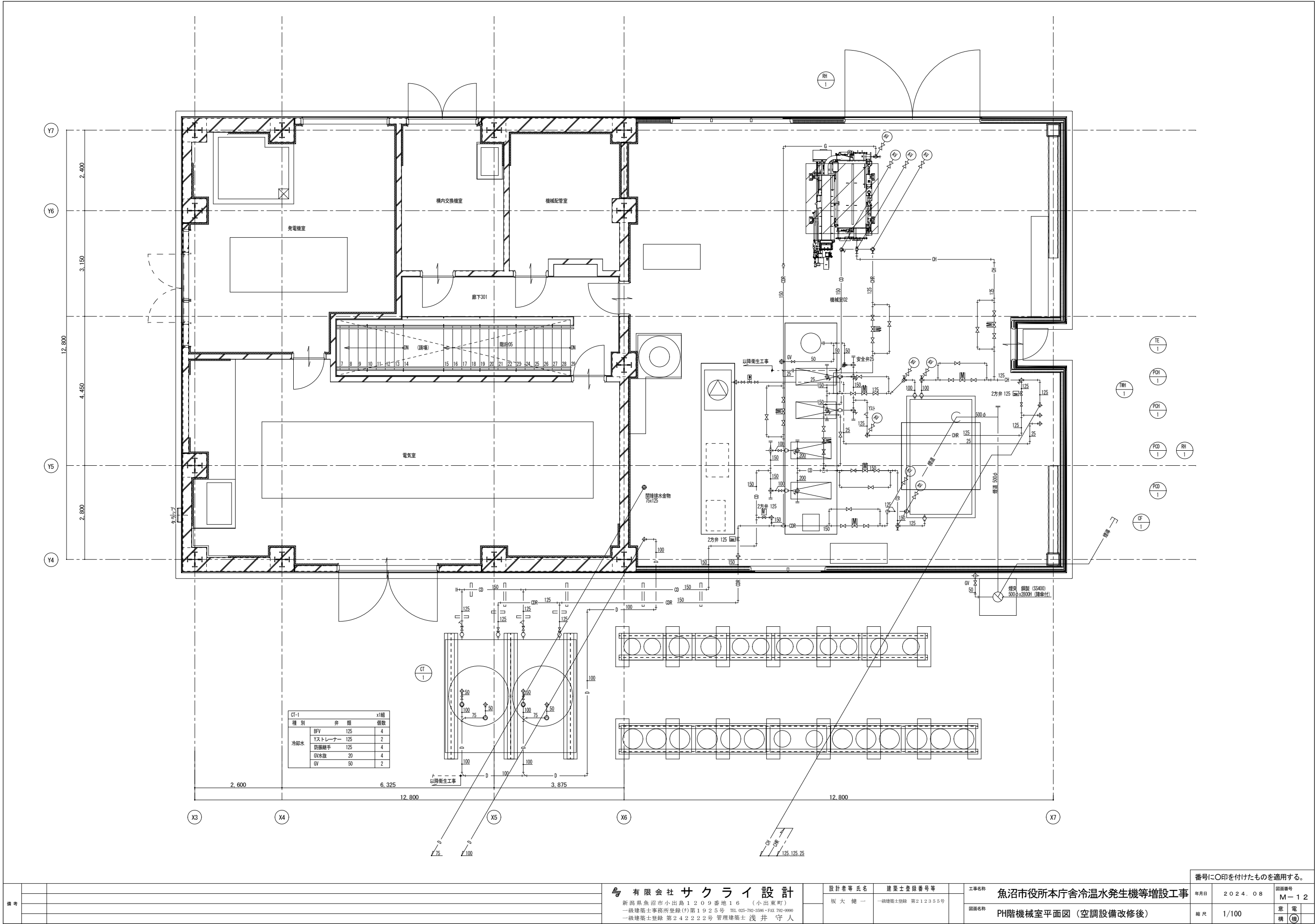


備考			有限会社 サクライ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(〒)第1925号 TEL 025-792-3386・FAX 792-9990 一級建築士登録 第24222号 管理建築士 浅井 守人	設計者等氏名 坂大 健一	建築士登録番号等 一級建築士登録 第212355号	工事名称	魚沼市役所本庁舎冷温水発生機等増設工事	年月日	2024.08	図面番号	M-08
						図面名称	空調系統図 (改修前)	縮尺	FREE	意	電
										構	機




[illegible]









備 考		 <b>有 限 会 社 サ ク ラ イ 設 計</b> 新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 一級建築士事務所登録(〒)第1925号 TEL.025-792-3386・FAX 792-9990 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅 井 守 人	設計者等氏名	建築士登録番号等	工事名称	年月日	2024. 08	図面番号	M-14
			板 大 健 一	一級建築士登録 第212355号	魚沼市役所本庁舎冷温水発生機等増設工事				
					図面名称	自動制御設備 計装図（1）	縮 尺	FREE	意 電 模（機）

自動制御機器表

機器記号	名称	形番	仕様概要	備考
BAV1	電動2方ボール弁	(バルプロ径表参照)		二位置
BV1	電動バタフライ弁	(バルプロ径表参照)		二位置
BV2	電動バタフライ弁	(バルプロ径表参照)		比例
CO2	室内用CO2濃度・温度センサ	CY7101T1P01		
CW2	冷却水フロー調節器	メーカー附属品		二位置
DC	DC24V電源	—		
DDC	デジタル式コントローラ	WY5111		
dP1	差圧スイッチ	PYY-604-911		二位置
dPE1	差圧センサ	JTD930S-1E1B2	電流出力	
dPIC1	指示調節器	R36TR1UA2100		
LF	液面リレー/電極棒 3P	61F-GP-N/3P		付属品含む
LF	液面リレー/電極棒 4P	61F-G3N/4P		付属品含む
LF	液面リレー/電極棒 5P	61F-G3N/5P		付属品含む
M1D	ダンパ操作器	MY6050A1001	電気式	二位置
ME1D	ダンパ操作器	MY6050A+QY9010A	電子式、接点、抵抗値入力	比例
ME1V1	電動2方弁	(バルプロ径表参照)	電子式、接点、抵抗値入力	比例
R	補助リレー	R		
RE	降雨強度計	OW-RF1-O1	電流出力式	4-20mA出力
SVW1	電磁弁	(バルプロ径表参照)		上水用
SW	切換スイッチ	SW		
TDED1	ダクト用温度・露点温度センサ	HTY7903T1P00	挿入形、抵抗値出力、電圧出力	Pt100Ω、高分子素子
TE1	室内用温度センサ	TY7043Z0P00	室内形、抵抗値出力	Pt100Ω
TED1	ダクト用温度センサ	TY7803Z0P00	挿入形、抵抗値出力	Pt100Ω
TEW1	配管用温度センサ	TY7830B1015	挿入形、抵抗値出力	Pt100Ω、R3/4
THE1	室内用温湿度センサ	HTY7043T1P00	抵抗値出力、電圧出力	Pt100Ω、高分子素子
THED2	ダクト用耐環境温湿度センサ	HTY1010T1100	挿入形、電圧出力	湿度ドリフト回復機能付
TIC1	指示調節器	R36TC0UA2100		
TIC2	指示調節器	R15TRORA0100		
TM	タイマ	TM		定格120分、設定1～60分程度
Tr1	トランス	—	AC100、200→AC24V	
Tr2	絶縁トランス	—	AC100、200→AC24V(絶縁トランス)	
WE	漏水検知器	WLS402		ソケット付
	降雪センサ	SHK-501		
	水中温度センサ	水中温度センサ	TR-Pt-A-S-HV1	投込形、抵抗値出力
BVY1	バタフライ弁	700G-41A		二位置
TEW1	配管用温度センサ	TY7830B1015	挿入形、抵抗値出力	Pt100Ω



バルプロ径表

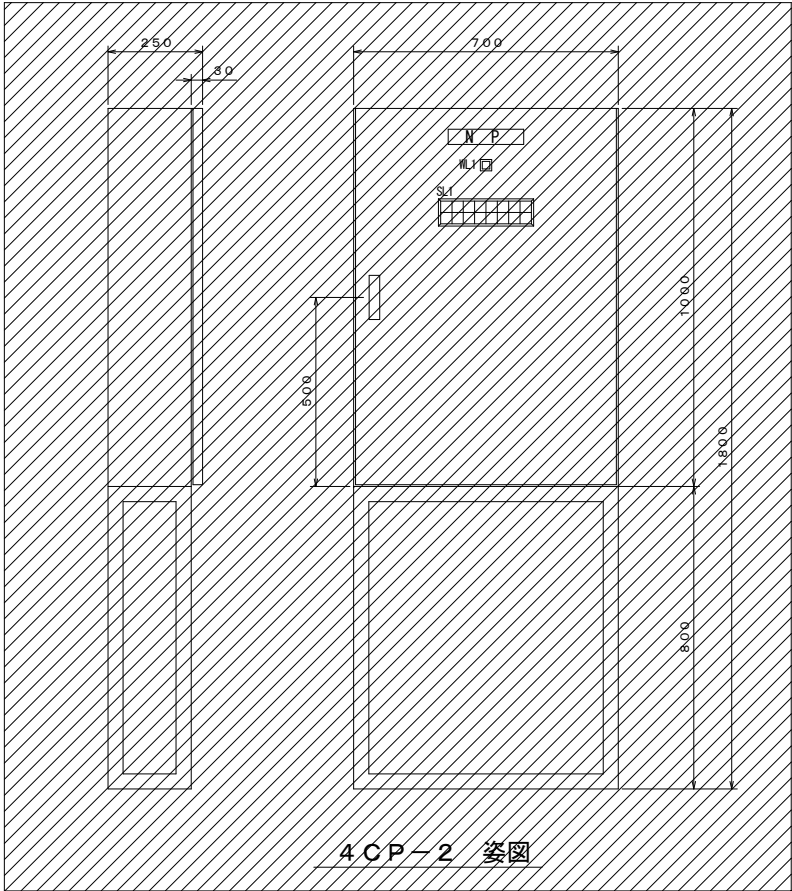
系 統 名		代 表 型 番	流 体	流 量	P i	Δ P	C v	口径 (A)	備 考
<熱源廻り制御>									
ヘッドバイパス弁		VY5113J	W2	1476.0		165.0	79.7	125	
RH-1	低負荷時切替弁 冷却水	700G-41A	W2	1476.0				125	×2
RH-1	低負荷時切替弁 冷却水	700G-41A	W2	2500.0				150	×2
RH-2	低負荷時切替弁 冷却水	700G-41A	W2	1476.0				125	×2
RH-2	低負荷時切替弁 冷却水	700G-41A	W2	2500.0				150	×2
<冷却塔制御>									
CT-1	冷却水 補給水弁	VY6300B	W2					40	
CT-1	冷却水 バイパス弁	700G-41AS	W3	2500.0		20.0	387.6	125	
<空調機制御 (1) >									
AHU-2-1	C/C制御弁	VY5110J	W2	260.0		30.0	32.9	40	
AHU-2-1	水加湿制御弁	付属品	W2						
AHU-2-2	C/C制御弁	VY5110J	W2	264.0		30.0	33.4	40	
AHU-2-2	水加湿制御弁	付属品	W2						
<空調機制御 (2) >									
AHU-1-1	H/C/C制御弁	VY5110J	W2	117.0		30.0	14.8	25	
AHU-1-1	水加湿制御弁	付属品	W2						
AHU-1-2	H/C/C制御弁	VY5110J	W2	208.0		30.0	26.3	40	
AHU-1-2	水加湿制御弁	付属品	W2						
AHU-3-1	H/C/C制御弁	VY5110J	W2	92.0		30.0	11.6	25	
AHU-3-1	水加湿制御弁	付属品	W2						
AHU-3-2	H/C/C制御弁	VY5110J	W2	64.0		30.0	8.1	25x20	
AHU-3-2	水加湿制御弁	付属品	W2						
<受水槽廻り制御>									
	補給水動作補助弁	WS22N	W2					20	
	補給水動作補助弁	WS22N	W2					20	
<融雪設備廻り制御>									
	制御弁	700G	W2					80	
	制御弁	700G	W2					80	
	制御弁	700G	W2					50	
<融雪機・融雪制御機>									
	補給水動作補助弁	WS22N	W2					20	


盤寸法表

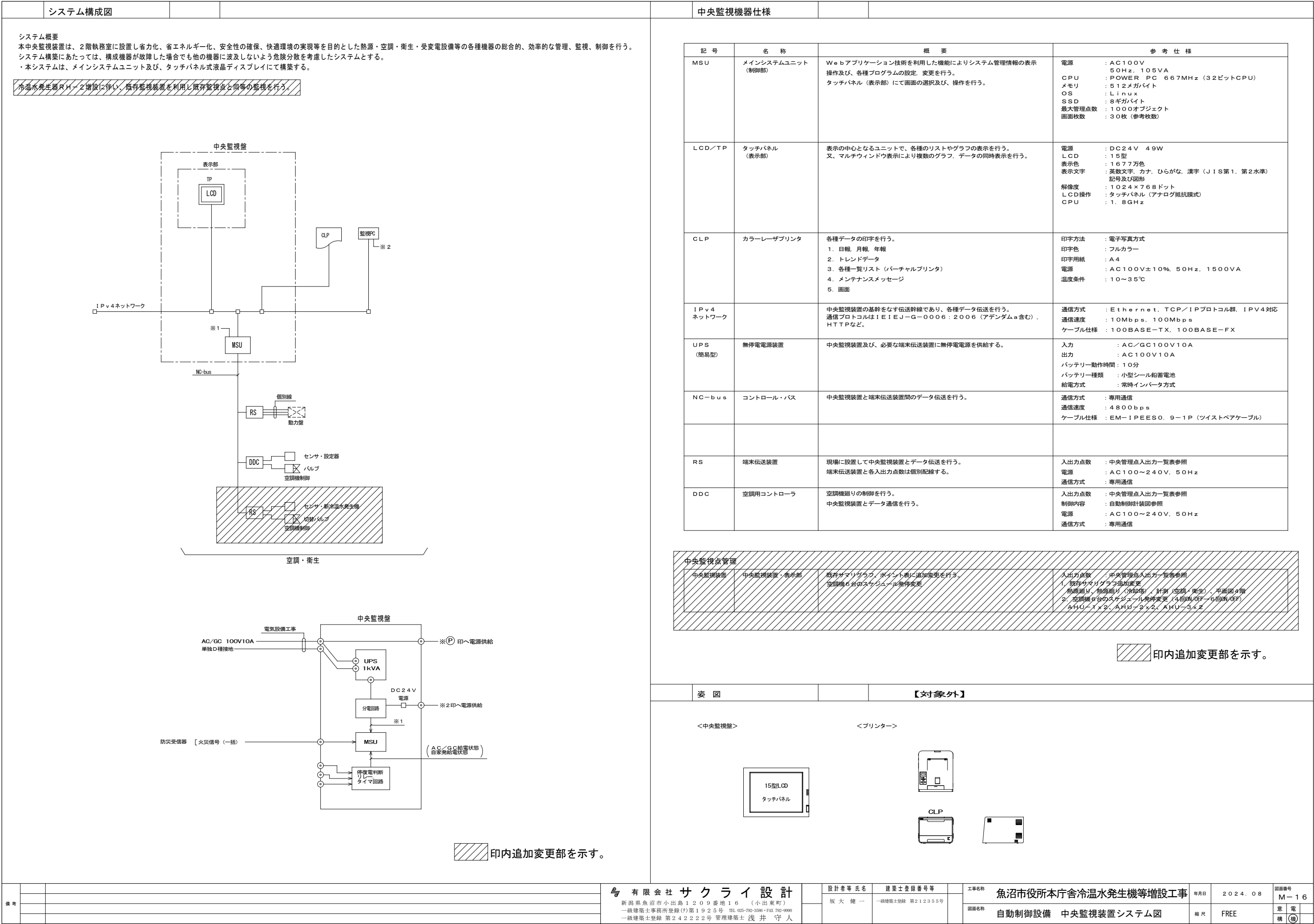
盤 名	形 状	収納系統名	備 考
1CP-1	自立	空調機制御 (2) 計測系統 中央管理点一覧参照	
1CP-2	自立	雑用水槽・雨水貯留槽廻り制御 水槽監視、消火水槽廻り制御 中央管理点一覧参照	
2CP-1	自立	空調機制御 (1) 計測系統 中央管理点一覧参照	
3CP-1	自立	空調機制御 (2) ファン発停制御、計測系統 中央管理点一覧参照	
4CP-1	自立	熱源廻り制御、冷却塔制御 ファン発停制御、計測系統 消火水槽廻り制御 <del>中央管理点一覧参照</del>	<del>追加変更を行う。</del>
RCP-1	自立	融雪設備廻り制御  中央管理点一覧参照	
4CP-2	壁掛	熱源廻り制御 低負荷バレル切替回路 中央管理点一覧参照	兼台付

凡例

---~---	AC100V or 200V
〇〇---	インターロック
	現場盤内取付機器
	監視盤との信号受渡し




 印内追加変更部を示す。




	中央管理点入出力一覧表 No. 1		
--	-------------------	--	--

設備記号	名 称	自動制御盤	信号取合先	リモート 種別	操 作 表 示 計 測								備 考	
					設定	オンオフ 状態	オンオフ	状態	警報	温度	湿度	その他		計量
	■熱源設備													
	<熱源廻り制御>													
RH-1	吸収式冷温水発生機 発停	4CP-1	機側盤	RS	1			1						
	冷暖切換	4CP-1	――	RS			1							
	熱源機入口温度 計測	4CP-1	――	RS					1					
	熱源機出口温度 計測	4CP-1	――	RS					1					
RH-2	吸収式冷温水発生機 発停	4CP-1	機側盤	RS	1			1						
	冷暖切換	4CP-1	――	RS			1							
	熱源機入口温度 計測	4CP-1	――	RS					1					
	熱源機出口温度 計測	4CP-1	――	RS					1					
	低負荷運転指令 発停	4CP-1	4CP-2	RS	1				1					
PCH-1	冷温水ポンプ 状態・警報	4CP-1	4P-1	RS				2	2					
	インバータ 出力・故障	4CP-1	4P-1	RS					2		2			
	<冷却塔制御>													
CT-1	冷却塔	4CP-1	RP-1	RS				1	1					
	冷却水往温度 計測	4CP-1	――	RS						1				
PCD-1	冷却水ポンプ 状態・警報	4CP-1	4P-1	DDC				2	2					
	インバータ 出力・故障	4CP-1	4P-1	DDC					2			2		
	■空調設備													
AHU-1-1	空調機	1CP-1	本体	DDC	1			1						
	フィルター目詰まり 警報	1CP-1	――	DDC				1						
	給気温度 設定・計測	1CP-1	――	DDC	1				1					
	室内温度 設定・計測	1CP-1	――	DDC	1					1				
	室内湿度 設定・計測	1CP-1	――	DDC	1						1			
	インバータ 出力	1CP-1	――	DDC	1							1		
	外気冷房中 状態	1CP-1	――	DDC				1						
	凍結防止中	1CP-1	――	DDC				1						
	室内温度 切換	1CP-1	――	DDC			1							
	室内湿度 切換	1CP-1	――	DDC			1							
AHU-1-2	空調機	1CP-1	本体	DDC	1			1						
	フィルター目詰まり 警報	1CP-1	――	DDC				1						
	給気温度 設定・計測	1CP-1	――	DDC	1				1					
	室内温度 設定・計測	1CP-1	――	DDC	2					2				
	室内湿度 設定・計測	1CP-1	――	DDC	2						2			
	室内CO2濃度 設定・計測	1CP-1	――	DDC	1							1		
	インバータ 出力	1CP-1	――	DDC								1		
	外気冷房中 状態	1CP-1	――	DDC				1						
	凍結防止中	1CP-1	――	DDC				1						
	室内温度 切換	1CP-1	――	DDC			1							
AHU-2-1	空調機	2CP-1	本体	DDC	1			1						
	インバータ 出力	2CP-1	――	DDC								2		
	フィルター目詰まり 警報	2CP-1	――	DDC				1						
	給気温度 設定・計測	2CP-1	――	DDC	1				1					
	給気露点温度 設定・計測	2CP-1	――	DDC	1					1				
	室内温度 設定・計測	2CP-1	――	DDC	2					2				
	室内湿度 設定・計測	2CP-1	――	DDC	2						2			
	室内CO2濃度 設定・計測	2CP-1	――	DDC	1							1		
	凍結防止中	2CP-1	――	DDC				1						
	全熱交換器 間欠運転モード 指令	2CP-1	――	DDC		1								
AHU-2-2	外気冷房中 状態	2CP-1	――	DDC				1						
	室内温度 切換	2CP-1	――	DDC			1							
	室内湿度 切換	2CP-1	――	DDC			1							
	空調機	2CP-1	本体	DDC	1			1						
	インバータ 出力	2CP-1	――	DDC								2		
AHU-3-1	フィルター目詰まり 警報	3CP-1	――	DDC				1						
	給気温度 設定・計測	3CP-1	――	DDC	1					1				
	室内温度 設定・計測	3CP-1	――	DDC	1					1				
	室内湿度 設定・計測	3CP-1	――	DDC	1						1			
	室内CO2濃度 設定・計測	3CP-1	――	DDC	1							1		
	凍結防止中	2CP-1	――	DDC				1						
	全熱交換器 間欠運転モード 指令	2CP-1	――	DDC		1								
	外気冷房中 状態	2CP-1	――	DDC				1						
	室内温度 切換	2CP-1	――	DDC			1							
	室内湿度 切換	2CP-1	――	DDC			1							

設備記号	名 称	自動制御盤	信号取合先	リモート 種別	操 作 表 示 計 測							計量	備 考	
					設定	オンオフ 状態	オンオフ	状態	警報	温度	湿度			その他
	インバータ 出力	3CP-1	――	DDC							1			
	外気冷房中 状態	3CP-1	――	DDC				1						
	凍結防止中	3CP-1	――	DDC				1						
AHU-3-2	空調機	3CP-1	本体	DDC		1			1					
	フィルター目詰まり 警報	3CP-1	――	DDC					1					
	給気温度 設定・計測	3CP-1	――	DDC	1					1				
	室内温度 設定・計測	3CP-1	――	DDC	1					1				
	室内湿度 設定・計測	3CP-1	――	DDC	1						1			
	室内CO2濃度 設定・計測	3CP-1	――	DDC	1							1		
	インバータ 出力	3CP-1	――	DDC								1		
	外気冷房中 状態	3CP-1	――	DDC				1						
	凍結防止中	3CP-1	――	DDC				1						
	■ファン													
FS-1-1	給気ファン（1 F 乾燥室）	1CP-2	1P-1	RS					1	1				
FS-1-2	給気ファン（1 F 授乳室）	1CP-2	1P-1	RS					1	1				
FS-1-3	給気ファン（1 F 機械室2）	1CP-2	1P-1	RS					1	1				
FS-1-4	給気ファン（1 F 機械室1）	1CP-1	1P-2	RS					1	1				
FS-3-1	給気ファン（3 F サーバー室）	3CP-1	3P-1	RS					1	1				
FS-3-2	給気ファン（3 F 防災通信室）	3CP-1	3P-1	RS					1	1				
FS-3-3	給気ファン（3 F 男子更衣室）	3CP-1	3P-1	RS					1	1				
FS-3-4	給気ファン（3 F 女子更衣室）	3CP-1	3P-1	RS					1	1				
FS-3-5	給気ファン（3 F 授乳室301）	3CP-1	3P-1	RS					1	1				
FS-3-6	給気ファン（3 F 書庫301）	3CP-1	3P-1	RS					1	1				
FS-3-7	給気ファン（3 F 書庫302）	3CP-1	3P-1	RS					1	1				
FS-3-8	給気ファン（3 F 書庫303）	3CP-1	3P-1	RS					1	1				
FS-3-9	給気ファン（3 F サーバー作業室）	3CP-1	3P-1	RS					1	1				
FS-4-1	給気ファン（4 F 機械室）	4CP-1	4P-1	RS					1	1				
FS-4-2	給気ファン（4 F 電気室）	RCP-1	4P-1	RS					1	1				
FS-4-3	給気ファン（4 F 発電機室）	4CP-1	4P-1	RS					1	1				
FS-4-4	給気ファン（4 F 構内交換室）	RCP-1	4P-1	RS					1	1				
FE-1-1	排気ファン（1 F 乾燥室）	1CP-2	1P-1	RS		1				1				
FE-1-2	排気ファン（1 F 授乳室101）	1CP-2	1P-1	RS		1				1				
FE-1-3	排気ファン（1 F 機械室2）	1CP-2	1P-1	RS		1				1				
FE-1-8	排気ファン（1 F 機械室1）	1CP-1	1P-2	RS		1				1				
FE-3-1	排気ファン（3 F サーバー室）	3CP-1	3P-1	RS		1				1				
FE-3-2	排気ファン（3 F 防災通信室）	3CP-1	3P-1	RS		1				1				
FE-3-3	排気ファン（3 F 男子更衣室）	3CP-1	3P-1	RS		1				1				
FE-3-4	排気ファン（3 F 女子更衣室）	3CP-1	3P-1	RS		1				1				
FE-3-5	排気ファン（3 F 授乳室301）	3CP-1	3P-1	RS		1				1				
FE-3-6	排気ファン（3 F 書庫301）	3CP-1	3P-1	RS		1				1				
FE-3-7	排気ファン（3 F 書庫302）	3CP-1	3P-1	RS		1				1				
FE-3-8	排気ファン（3 F 書庫303）	3CP-1	3P-1	RS		1				1				
FE-3-9	排気ファン（3 F サーバー作業室）	3CP-1	3P-1	RS		1				1				
FE-4-1	排気ファン（4 F 機械室）	4CP-1	4P-1	RS		1				1				
FE-4-2	排気ファン（4 F 電気室）	RCP-1	4P-1	RS		1				1				
FE-4-3	排気ファン（4 F 発電機室）	4CP-1	4P-1	RS		1				1				
FE-4-4	排気ファン（4 F 構内交換室）	RCP-1	4P-1	RS		1				1				
FE-P-1	排気ファン（公用車庫 車庫）	1CP-2	SLP-1	RS		1				1				
	■衛生設備													
	<受水槽廻り制御>													
TW-1	受水槽 上下限警報	4CP-1	水位制御盤	RS						2				
	受水槽 遮断弁閉	4CP-1	水位制御盤	RS				1						
PU-1	加圧給水ポンプユニット（上水系統）	4CP-1	本体	RS					1	1				
	<雑用水槽・雨水貯留槽廻り制御>													
	雑用水槽 上下限警報	1CP-2	――	RS						2				
PU-2	加圧給水ポンプユニット（雑用水系統）	1CP-2	本体	RS				1	1					
PU-3	加圧給水ポンプユニット（冷却塔補給水系統）	4CP-1	本体	RS				1	1					
	雨水貯留槽 上限警報	1CP-2	――	RS					1					
WF-1	弁状態	1CP-2	――	RS				1						
	ろ過装置 一括警報	1CP-2	機側盤	RS					1					
	<融雪設備廻り制御>													
	降雪 状態	4CP-1	――	RS				1						
	循環水槽内温度 計測	4CP-1	――	RS							1			
	循環ポンプ	4CP-1	――	RS		1			1					

 印内追加変更部を示す。

備 考		 <b>有 限 会 社 サ ク ラ イ 設 計</b> 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3386・FAX 792-9990 一級建築士登録 第24222号 管理建築士 浅井 守 人	設計者等氏名 坂 大 健 一	建築士登録番号等 一級建築士登録 第212355号	工事名称 <b>魚沼市役所本庁舎冷温水発生機等増設工事</b>	年月日 2 0 2 4 . 0 8	図面番号 M - 1 7	図面名称 <b>自動制御設備 中央管理点表</b>	縮 尺 FREE	意 電 構 機



魚沼市役所本庁舎冷温水発生機等増設工事				令和 6 年 8 月 (金) 休																		
工 事 場 所 魚沼市小出島910番地																						
建 物 概 要																						
建 物 名 称		構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防令別表第一	備 考																
魚 沼 市 本 庁 舎		SRC造	4	6,929		事務所																
仕 様 書																						
I. 共 通 仕 様																						
1 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、次による。 新築及び増築に係る電気設備工事においては、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」（以下「標準仕」という。）及び「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・環境課監修 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） 令和4年版」（以下「標準図」という。）による。 改修に係る電気設備工事においては、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」（以下「改修標準仕」という。）及び「標準図」による。ただし、改修標準仕に記載されていない事項は、標準仕による。 2 標準仕及び改修標準仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。 (1) 「工事請負契約書」を「魚沼市財務規則（平成16年11月1日規則第49号）別記（第167条関係）建設工事請負基本約款」（以下「約款」という。）に読み替える。 (2) 「監督職員」を「監督員」に読み替える。 3 次の各号に該当する標準仕及び改修標準仕の項目について、標準仕及び改修標準仕の規定を別表に置き換えて適用する。（以下「[]」は、改修標準仕の項目を表示） (1) 第1編 第1章 1.1.2 [1.1.2] 用語の定義の(ウ)、(オ)、(イ) (2) " 1.1.5 [1.1.5] 書面の書式及び取扱いの(2) (3) " 1.4.2 [1.4.2] 機材の品質等の(a)及び(b) (4) " 1.4.4 [1.4.5] 機材の検査等の(a) (5) " 1.6.1 [1.10.1] 工事検査の(イ)及び(d) 4 標準仕及び改修標準仕の次の項目の規定は適用しない。 第1編 第1章 1.1.2 [1.1.2] 用語の定義の(イ) " 1.6.2 [1.10.2] 技術検査																						
別 表																						
号	項 目	置き換え後の標準仕及び改修標準仕の規定																				
	第1編 一般共通事項 第1章 一般事項																					
(1)	1.1.2 [1.1.2] 用語の定義	(ウ) 「監督員」とは、約款第10条の規定により受注者に通知された者という。 (a) 「書面」とは発行年月日及び氏名が記載された文書又は新潟県CALSシステム上で電子決裁処理された電磁的記録をいう。 (イ) 「工事検査」とは、約款に規定する次の各事項の確認をするために発注者又は検査機関が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。（ただし、②に係る検査を除く。） ① 工事の完成（約款第32条） ② 部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等（約款第38条） ③ 部分引渡し指定部分に係る工事の完成（約款第39条） ④ 契約の解除時における出来形部分（約款第48条） ⑤ 必要があると認めたとときの臨時検査（約款第50条）																				
(2)	1.1.5 [1.1.5] 書面の様式及び取扱い	(2) 書面により行われなければならないこととされている「監督員の承諾」、「監督員の指示」、「監督員と協議」、「監督員に報告」及び「監督員に提出」については、電子メール等の情報通信の技術を利用する方法を用いて行うことができる。																				
(3)	1.4.2 [1.4.2] 機材の品質等	(1) 使用する機材は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（一般社団法人 公共建築協会）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。ただし、仮設に使用する機材は、新品に限らない。 なお、「新品」とは、品質及び性能が製造所から出荷された状態であることを指し、製造者による使用期限等の定めがある場合を除き、製造後一定期間内であることを条件とするものではない。 (2) 使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料（試験成績書等）を監督員に提出する。 ただし、設計図書において「JIS」とよび指定された機材でJISマーク表示のある機材を使用する場合及びあらかじめ監督員の承諾を受けた場合（及の(ウ)から(イ)までのいずれかに該当する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたと見なすことができる。）は、資料の提出を省略することができる。 (イ) 建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる機材 (ロ) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿に記載されている機材又は製造所の製品（特記で標準仕及び改修標準仕の規定に基づき品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (ウ) 特記により指定された材料又は製造者の製品																				
(4)	1.4.4 [1.4.5] 機材の検査等	(1) 工事現場に搬入された機材は、個別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(ウ)若しくは(ロ)に該当する場合及びあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (イ) 工事完成検査時又は工事写真で、JISのマークを確認できる場合 (ロ) 建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合																				
(5)	1.6.1 [1.10.1] 工事検査	(2) 約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (3) (1)の通知又は(2)の請求に基づく検査並びに約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に検査を受ける。																				
Ⅱ. 特 記 仕 様																						
凡 例 (1) 章と項目は、番号に○印のついたものを適用する。特記事項は、・に○印のついたものを適用する。 (2) 特記事項で○印のない場合は、※印のあるものを適用する。○印と※印のある場合は、○印のあるものを適用する。 (3) 根拠項目の(a=b、c、d)は、標準仕の第a編b章c節d項を表す。 根拠項目の[a=b、c、d]は、改修標準仕の第a編b章c節d項を表す。																						
章	項目	特記事項	根拠項目	章	項目	特記事項	根拠項目															
Ⅰ 一般事項	① 工事実績情報の登録	請負工事費500万円以上の場合登録する。	(1-1.1.4)	Ⅱ 電気設備	① 電気方式	幹線 3相 3線式 ・ 電圧 200V ・ 400V	(2-2.15.1)															
	2 概成工期	※ 無 ・ 有 (工期 令和 年 月 日)	[1-1.1.4]		2 電動機接地	・ 単独接地 ・ 共同接地 ( ・ 共通導線式 ・ 金属管接地式)	(2-2.17.1)															
	3 内部の工事期間等	着手 令和 年 月 ～ 終了 令和 年 月 日 までとする。	(1-1.2.1)		3 配線用遮断器	定格遮断電流は、最小のもので対称値 ( A ) 以上とする。																
		部分使用に係る条件に変更がある場合は、部分使用承諾書により、施設内部の使用を開始する。 次の作業は内部工事着手前に行える。ただし、着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議のうえ決定する。 ※ 現場調査	[1-1.2.1]		4 予備ブレーク・ブレーク	予備ブレーク ( ※ 20% ) ・ ブレーク ( ※ なし )																
	④ 電気工士	契約電力500KW以上の電気工作物においても、次の者により施工をおこなうこと。 ※ 第1種電気工士 ・ 特種電気工事資格者（非常用予備発電装置） ・ 認定電気工事従事者				5 計算計器	・ 無検定 ・ 検定付															
Ⅱ 電気設備	① 電気方式	幹線 3相 3線式 ・ 電圧 200V ・ 400V	(2-2.15.1)	Ⅲ 動力設備	2 電動機接地	・ 単独接地 ・ 共同接地 ( ・ 共通導線式 ・ 金属管接地式)	(2-2.17.1)															
	2 電動機接地	・ 単独接地 ・ 共同接地 ( ・ 共通導線式 ・ 金属管接地式)	(2-2.17.1)		3 配線用遮断器	定格遮断電流は、最小のもので対称値 ( A ) 以上とする。																
	3 配線用遮断器	定格遮断電流は、最小のもので対称値 ( A ) 以上とする。			4 予備ブレーク・ブレーク	予備ブレーク ( ※ 20% ) ・ ブレーク ( ※ なし )																
	4 予備ブレーク・ブレーク	予備ブレーク ( ※ 20% ) ・ ブレーク ( ※ なし )			5 計算計器	・ 無検定 ・ 検定付																
	5 計算計器	・ 無検定 ・ 検定付			6 低圧用SPD	・ クラスⅠ ・ クラスⅡ																
Ⅲ 動力設備	2 電動機接地	・ 単独接地 ・ 共同接地 ( ・ 共通導線式 ・ 金属管接地式)	(2-2.17.1)	Ⅳ 配線用遮断器	1 受雷部	・ クラシ ・ 水平導体又はメッシュ導体 ・ 構造体利用	(2-2.17.1)															
	3 配線用遮断器	定格遮断電流は、最小のもので対称値 ( A ) 以上とする。			2 避雷導線	・ 引下げ導線 ・ 構造体利用	(2-2.17.4)															
	4 予備ブレーク・ブレーク	予備ブレーク ( ※ 20% ) ・ ブレーク ( ※ なし )			3 接地電極	・ 環状接地電極 ・ 板状接地電極 ・ 基礎接地電極	[2-2.19.1]															
	5 計算計器	・ 無検定 ・ 検定付			4 網状接地電極	・ 垂直接地電極 ・ 放射状水平接地電極																
	6 低圧用SPD	・ クラスⅠ ・ クラスⅡ			5 外部雷保護	・ レベルⅠ ・ レベルⅡ ・ レベルⅢ ・ レベルⅣ																
Ⅳ 配線用遮断器	1 受雷部	・ クラシ ・ 水平導体又はメッシュ導体 ・ 構造体利用	(2-2.17.1)	Ⅴ フラッシュプレート	10 フラッシュプレート	※ 別表で関係受注者が指定した物は、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 ※ 別途工事 ・ 本工事 ※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する 監督員が使用できる品目として、次のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・ 保安帽 ケ ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない ・ 既設設備に電力量計を設ける ・ 発電機を使用する 現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※ 構内指示の場所に数枚均し ・ 構外搬出適切処理 建物の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備附属設計・施工指針2014年版」による。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kg] に、＜表－1＞設計用標準水平地震を乗じたものとする。 (2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 ブルボックス禁止設置箇所 ※ 天井いれべい部 ※ シャフト内 上記以外のブルボックス ※ 焼付塗装 ※ 調査ペイント2回塗 金属製露出電線管設置箇所 ※ 屋外 ・ 電気機室 ※ シャフト 図面に特記のあるもの及び特殊なものを除き ※ 新金属製 ※ 樹脂製 電力設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称等を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 改修工事においては極力隠蔽に心がけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。 取外し再付機器は、原則として清掃、調整、絶縁抵抗測定等を行った後取付ける。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 仮設機期間 ( ・ 図示 ) 仮設設備項目 ( ・ 受電電 ・ 自家発 ・ 火災報知 ・ 防犯 ・ 電話 ・ LAN)	(2-2.17.1)	Ⅵ 接地設備	10 接地電極	※ 別表で関係受注者が指定した物は、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 ※ 別途工事 ・ 本工事 ※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する 監督員が使用できる品目として、次のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・ 保安帽 ケ ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない ・ 既設設備に電力量計を設ける ・ 発電機を使用する 現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※ 構内指示の場所に数枚均し ・ 構外搬出適切処理 建物の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備附属設計・施工指針2014年版」による。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kg] に、＜表－1＞設計用標準水平地震を乗じたものとする。 (2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 ブルボックス禁止設置箇所 ※ 天井いれべい部 ※ シャフト内 上記以外のブルボックス ※ 焼付塗装 ※ 調査ペイント2回塗 金属製露出電線管設置箇所 ※ 屋外 ・ 電気機室 ※ シャフト 図面に特記のあるもの及び特殊なものを除き ※ 新金属製 ※ 樹脂製 電力設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称等を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 改修工事においては極力隠蔽に心がけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。 取外し再付機器は、原則として清掃、調整、絶縁抵抗測定等を行った後取付ける。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 仮設機期間 ( ・ 図示 ) 仮設設備項目 ( ・ 受電電 ・ 自家発 ・ 火災報知 ・ 防犯 ・ 電話 ・ LAN)	(2-2.17.1)	Ⅶ 接地電極	10 接地電極	※ 別表で関係受注者が指定した物は、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 ※ 別途工事 ・ 本工事 ※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する 監督員が使用できる品目として、次のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・ 保安帽 ケ ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない ・ 既設設備に電力量計を設ける ・ 発電機を使用する 現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※ 構内指示の場所に数枚均し ・ 構外搬出適切処理 建物の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備附属設計・施工指針2014年版」による。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kg] に、＜表－1＞設計用標準水平地震を乗じたものとする。 (2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 ブルボックス禁止設置箇所 ※ 天井いれべい部 ※ シャフト内 上記以外のブルボックス ※ 焼付塗装 ※ 調査ペイント2回塗 金属製露出電線管設置箇所 ※ 屋外 ・ 電気機室 ※ シャフト 図面に特記のあるもの及び特殊なものを除き ※ 新金属製 ※ 樹脂製 電力設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称等を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 改修工事においては極力隠蔽に心がけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。 取外し再付機器は、原則として清掃、調整、絶縁抵抗測定等を行った後取付ける。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 仮設機期間 ( ・ 図示 ) 仮設設備項目 ( ・ 受電電 ・ 自家発 ・ 火災報知 ・ 防犯 ・ 電話 ・ LAN)	(2-2.17.1)	Ⅷ 外部雷保護	10 外部雷保護	・ レベルⅠ ・ レベルⅡ ・ レベルⅢ ・ レベルⅣ				
	Ⅴ フラッシュプレート	10 フラッシュプレート	※ 別表で関係受注者が指定した物は、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 ※ 別途工事 ・ 本工事 ※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する 監督員が使用できる品目として、次のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・ 保安帽 ケ ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない ・ 既設設備に電力量計を設ける ・ 発電機を使用する 現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※ 構内指示の場所に数枚均し ・ 構外搬出適切処理 建物の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備附属設計・施工指針2014年版」による。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kg] に、＜表－1＞設計用標準水平地震を乗じたものとする。 (2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 ブルボックス禁止設置箇所 ※ 天井いれべい部 ※ シャフト内 上記以外のブルボックス ※ 焼付塗装 ※ 調査ペイント2回塗 金属製露出電線管設置箇所 ※ 屋外 ・ 電気機室 ※ シャフト 図面に特記のあるもの及び特殊なものを除き ※ 新金属製 ※ 樹脂製 電力設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称等を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 改修工事においては極力隠蔽に心がけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。 取外し再付機器は、原則として清掃、調整、絶縁抵抗測定等を行った後取付ける。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 仮設機期間 ( ・ 図示 ) 仮設設備項目 ( ・ 受電電 ・ 自家発 ・ 火災報知 ・ 防犯 ・ 電話 ・ LAN)		(2-2.17.1)	Ⅵ 接地設備	10 接地電極		※ 別表で関係受注者が指定した物は、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 ※ 別途工事 ・ 本工事 ※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する 監督員が使用できる品目として、次のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・ 保安帽 ケ ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない ・ 既設設備に電力量計を設ける ・ 発電機を使用する 現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※ 構内指示の場所に数枚均し ・ 構外搬出適切処理 建物の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備附属設計・施工指針2014年版」による。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kg] に、＜表－1＞設計用標準水平地震を乗じたものとする。 (2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 ブルボックス禁止設置箇所 ※ 天井いれべい部 ※ シャフト内 上記以外のブルボックス ※ 焼付塗装 ※ 調査ペイント2回塗 金属製露出電線管設置箇所 ※ 屋外 ・ 電気機室 ※ シャフト 図面に特記のあるもの及び特殊なものを除き ※ 新金属製 ※ 樹脂製 電力設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称等を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 改修工事においては極力隠蔽に心がけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。 取外し再付機器は、原則として清掃、調整、絶縁抵抗測定等を行った後取付ける。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 仮設機期間 ( ・ 図示 ) 仮設設備項目 ( ・ 受電電 ・ 自家発 ・ 火災報知 ・ 防犯 ・ 電話 ・ LAN)	(2-2.17.1)	Ⅶ 接地電極		10 接地電極	※ 別表で関係受注者が指定した物は、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 ※ 別途工事 ・ 本工事 ※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する 監督員が使用できる品目として、次のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・ 保安帽 ケ ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない ・ 既設設備に電力量計を設ける ・ 発電機を使用する 現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※ 構内指示の場所に数枚均し ・ 構外搬出適切処理 建物の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備附属設計・施工指針2014年版」による。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kg] に、＜表－1＞設計用標準水平地震を乗じたものとする。 (2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 ブルボックス禁止設置箇所 ※ 天井いれべい部 ※ シャフト内 上記以外のブルボックス ※ 焼付塗装 ※ 調査ペイント2回塗 金属製露出電線管設置箇所 ※ 屋外 ・ 電気機室 ※ シャフト 図面に特記のあるもの及び特殊なものを除き ※ 新金属製 ※ 樹脂製 電力設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称等を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 改修工事においては極力隠蔽に心がけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。 取外し再付機器は、原則として清掃、調整、絶縁抵抗測定等を行った後取付ける。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 仮設機期間 ( ・ 図示 ) 仮設設備項目 ( ・ 受電電 ・ 自家発 ・ 火災報知 ・ 防犯 ・ 電話 ・ LAN)	(2-2.17.1)		Ⅷ 外部雷保護	10 外部雷保護	・ レベルⅠ ・ レベルⅡ ・ レベルⅢ ・ レベルⅣ			
		Ⅵ 接地設備	10 接地電極		※ 別表で関係受注者が指定した物は、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 ※ 別途工事 ・ 本工事 ※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する 監督員が使用できる品目として、次のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・ 保安帽 ケ ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない ・ 既設設備に電力量計を設ける ・ 発電機を使用する 現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※ 構内指示の場所に数枚均し ・ 構外搬出適切処理 建物の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備附属設計・施工指針2014年版」による。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kg] に、＜表－1＞設計用標準水平地震を乗じたものとする。 (2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 ブルボックス禁止設置箇所 ※ 天井いれべい部 ※ シャフト内 上記以外のブルボックス ※ 焼付塗装 ※ 調査ペイント2回塗 金属製露出電線管設置箇所 ※ 屋外 ・ 電気機室 ※ シャフト 図面に特記のあるもの及び特殊なものを除き ※ 新金属製 ※ 樹脂製 電力設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称等を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 改修工事においては極力隠蔽に心がけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。 取外し再付機器は、原則として清掃、調整、絶縁抵抗測定等を行った後取付ける。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 仮設機期間 ( ・ 図示 ) 仮設設備項目 ( ・ 受電電 ・ 自家発 ・ 火災報知 ・ 防犯 ・ 電話 ・ LAN)		(2-2.17.1)		Ⅶ 接地電極	10 接地電極			※ 別表で関係受注者が指定した物は、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 ※ 別途工事 ・ 本工事 ※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する 監督員が使用できる品目として、次のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・ 保安帽 ケ ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない ・ 既設設備に電力量計を設ける ・ 発電機を使用する 現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※ 構内指示の場所に数枚均し ・ 構外搬出適切処理 建物の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備附属設計・施工指針2014年版」による。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kg] に、＜表－1＞設計用標準水平地震を乗じたものとする。 (2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 ブルボックス禁止設置箇所 ※ 天井いれべい部 ※ シャフト内 上記以外のブルボックス ※ 焼付塗装 ※ 調査ペイント2回塗 金属製露出電線管設置箇所 ※ 屋外 ・ 電気機室 ※ シャフト 図面に特記のあるもの及び特殊なものを除き ※ 新金属製 ※ 樹脂製 電力設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称等を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 改修工事においては極力隠蔽に心がけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。 取外し再付機器は、原則として清掃、調整、絶縁抵抗測定等を行った後取付ける。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 仮設機期間 ( ・ 図示 ) 仮設設備項目 ( ・ 受電電 ・ 自家発 ・ 火災報知 ・ 防犯 ・ 電話 ・ LAN)	(2-2.17.1)	Ⅷ 外部雷保護			10 外部雷保護	・ レベルⅠ ・ レベルⅡ ・ レベルⅢ ・ レベルⅣ			
			Ⅶ 接地電極		10 接地電極		※ 別表で関係受注者が指定した物は、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 ※ 別途工事 ・ 本工事 ※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する 監督員が使用できる品目として、次のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・ 保安帽 ケ ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない ・ 既設設備に電力量計を設ける ・ 発電機を使用する 現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※ 構内指示の場所に数枚均し ・ 構外搬出適切処理 建物の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備附属設計・施工指針2014年版」による。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kg] に、＜表－1＞設計用標準水平地震を乗じたものとする。 (2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 ブルボックス禁止設置箇所 ※ 天井いれべい部 ※ シャフト内 上記以外のブルボックス ※ 焼付塗装 ※ 調査ペイント2回塗 金属製露出電線管設置箇所 ※ 屋外 ・ 電気機室 ※ シャフト 図面に特記のあるもの及び特殊なものを除き ※ 新金属製 ※ 樹脂製 電力設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称等を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 改修工事においては極力隠蔽に心がけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。 取外し再付機器は、原則として清掃、調整、絶縁抵抗測定等を行った後取付ける。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 仮設機期間 ( ・ 図示 ) 仮設設備項目 ( ・ 受電電 ・ 自家発 ・ 火災報知 ・ 防犯 ・ 電話 ・ LAN)			(2-2.17.1)			Ⅷ 外部雷保護	10 外部雷保護				・ レベルⅠ ・ レベルⅡ ・ レベルⅢ ・ レベルⅣ				
					Ⅷ 外部雷保護		10 外部雷保護			・ レベルⅠ ・ レベルⅡ ・ レベルⅢ ・ レベルⅣ								Ⅸ 内部雷保護システム	5 内部雷保護システム			
Ⅸ 内部雷保護システム				5 内部雷保護システム						Ⅹ 接地電極		10 接地電極		※ 別表で関係受注者が指定した物は、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 ※ 別途工事 ・ 本工事 ※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する 監督員が使用できる品目として、次のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・ 保安帽 ケ ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない ・ 既設設備に電力量計を設ける ・ 発電機を使用する 現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※ 構内指示の場所に数枚均し ・ 構外搬出適切処理 建物の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備附属設計・施工指針2014年版」による。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kg] に、＜表－1＞設計用標準水平地震を乗じたものとする。 (2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 ブルボックス禁止設置箇所 ※ 天井いれべい部 ※ シャフト内 上記以外のブルボックス ※ 焼付塗装 ※ 調査ペイント2回塗 金属製露出電線管設置箇所 ※ 屋外 ・ 電気機室 ※ シャフト 図面に特記のあるもの及び特殊なものを除き ※ 新金属製 ※ 樹脂製 電力設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称等を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 改修工事においては極力隠蔽に心がけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。 取外し再付機器は、原則として清掃、調整、絶縁抵抗測定等を行った後取付ける。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 仮設機期間 ( ・ 図示 ) 仮設設備項目 ( ・ 受電電 ・ 自家発 ・ 火災報知 ・ 防犯 ・ 電話 ・ LAN)		(2-2.17.1)			Ⅹ 接地電極	10 接地電極	※ 別表で関係受注者が指定した物は、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 ※ 別途工事 ・ 本工事 ※ 設けない ・ 既設建物内の一部を使用する ・ 仮設事務所内に監督員空間を m程度確保する 監督員が使用できる品目として、次のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 ・ 保安帽 ケ ・ 雨具 着 ・ 長靴 足 ・ 安全帯 組 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない 構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償 ) ・ 利用できない ・ 既設設備に電力量計を設ける ・ 発電機を使用する 現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※ 構内指示の場所に数枚均し ・ 構外搬出適切処理 建物の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備附属設計・施工指針2014年版」による。 (1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kg] に、＜表－1＞設計用標準水平地震を乗じたものとする。 (2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 ブルボックス禁止設置箇所 ※ 天井いれべい部 ※ シャフト内 上記以外のブルボックス ※ 焼付塗装 ※ 調査ペイント2回塗 金属製露出電線管設置箇所 ※ 屋外 ・ 電気機室 ※ シャフト 図面に特記のあるもの及び特殊なものを除き ※ 新金属製 ※ 樹脂製 電力設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 通信設備 ジョイントボックス用 ※ 丸形 ※ 角形 ジョイントボックス並びに器具を実装しないプレートには略称等を用いて用途を表示する。 分電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 制御盤、配電盤 ※ 指定色 ・ JEM1135 長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上の導入線を挿入する。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 改修工事においては極力隠蔽に心がけ、やむを得ず露出となる部分は予め施工図を作成し監督員の承諾を受けること。 取外し再付機器は、原則として清掃、調整、絶縁抵抗測定等を行った後取付ける。 (室名)は直天を明示し、( ) などの室名は二重天を明示する。 仮設機期間 ( ・ 図示 ) 仮設設備項目 ( ・ 受電電 ・ 自家発 ・ 火災報知 ・ 防犯 ・ 電話 ・ LAN)	(2-2.17.1)
	Ⅹ 接地電極			10 接地電極		※ 別表で関係受注者が指定した物は、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 																



章	項目	特記事項	根拠項目
(25) 追加特記事項	① 公共事業労務費調査	※ 協力する。	
	② 工事監理方式	共同監理 ・ あり ※ なし	
	③ 適用基準等	・ 営繕工事電子納品要領(案) (国土交通省大臣官庁官庁営繕部営繕計画課監修) ※ 工事運行に77 (新潟県土木部都市局営繕課作成)	
	④ 総合図	※ 作成する ・ 作成しない	
	⑤ 工事成績評定	受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。(様式等は工事運行に77による。)	
	⑥ アスベスト含有の建材	アスベスト含有の建材は使用しない。 ただし、やむを得ずアスベスト含有建材を使用する場合は事前に監督員と協議を行うこと。	
	⑦ 中間技術検査	低入札価格調査基準価格を下回った額で契約となった場合は、中間技術検査を1回実施する。 検査時期については、工事現場着手前に監督員と協議すること。	

＜表－１＞ 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	「官庁施設の新耐震・対策設計基準及び同解説 令和3年版」建築設備の耐震設計による			
		・ 特定の施設（ ・ 甲類 ・ 乙類 ）		・ 一般の施設（ ・ 乙類 ）	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
中間階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
地下・1階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6

重要機器： ・ 配電盤 ・ 発電装置 ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置  
・ 交換機 ・ 火災報知受信機 ・ 中央監視装置 ・

上層階の定義： 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。

＜表－２＞ あと施工アンカー

<p>1 共通事項</p>	<p>(1) 既設のインポート及びアウターは原則として使用しない。やむを得ず既設のインポート及びアウターを再利用する場合は、状態及び強度をよく確認し、十分に清掃してから使用する。また、引張強度の確認試験については次による。</p> <p>( )</p> <p>(2) あと施工アークについては機械設備工事標準図（施工19）による。</p> <p>(3) 穿孔作業には、専用ドリル、振動ドリル等を使用し、必要埋設深さを確保するため、穿孔深さのドリルへの表示やスナップ付きドリルの使用等を行う。</p>
<p>2 重要機器用のあと施工アーク</p>	<p>(1) 重要機器の耐震固定等に使用するあと施工アーク又は金属拡張アーク又は接着系アークとし、耐震計算にて選定を行う。</p> <p>(2) 金属拡張アークの仕様は、次による。</p> <p>(イ) 金属拡張アークは、(社)日本建築あと施工アーク協会が金属系あと施工アーク品質性能判定の性能を満足する製品とする。</p> <p>(ロ) 金属拡張アークの取り付け方法は、図示による。図示がなければ、本体打込み式とする。</p> <p>(ハ) 金属拡張アーク本体の径及び埋込み深さは、図示による。</p> <p>(ニ) ズグ防の種類、径及び長さも図示による。</p> <p>(3) 接着系アークの仕様は、次による。なお、次により施工が困難な場合は、監督員と相談すること。</p> <p>(イ) 接着系アークは、(社)日本建築あと施工アーク協会が接着系あと施工アーク品質性能判定の性能を満足する製品とする。</p> <p>(ロ) 接着系アークは、が 仕様とし、接着剤の材質及び の種類は図示による。</p> <p>(ハ) 接着系アークの埋込深さ及び引張引抜荷重については、機械設備工事標準図（施工19）による。</p> <p>(4) あと施工アークの施工には、工事内容に相応しい施工の指導を行うあと施工アーク技術管理士又は主任技士を置く。</p> <p>(5) あと施工アーク作業における技能者は、あと施工アーク工事の施工に関する十分な経験と技能を有する主任技士又は第1・2種あと施工アーク施工士とする。</p> <p>(6) あと施工アークの撤去は、専用の工具を使用し、構造物に影響を与えないようにすること。</p>

＜表－３＞ 用語の説明

- (1) 「撤去」とは、既存物を壊し取ること。
- (2) 「取外し」とは、再使用を考慮して、丁寧に外すこと。
- (3) 「撤去・新設」とは、既存物を撤去し、新たな物を設置すること。
- (4) 「取外し・再取付」とは、既存物を取外し、同じ物を取付けること。 [I-1, 4.3]
- (5) 「備品移動」とは、工事の施工に支障となる備品を一時的な場所に保管し、工事終了後に元の場所に戻すこと。

＜表－４＞ 発生材の処理等

- ## 1. 再生資材の利用

下表資材の使用に際し、再生資材を利用すること。			
再 生 資 材 名	規 格	使 用 箇 所	再資源化施設名・所在地
			備 考

- ## 2. 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下表の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

- ### 3. 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下表の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称			
工事場所／施設所在地			
運 送 先			
仮置場所の有無			
備 考			

- #### 4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下表の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名				
処理施設名称				
施設所在地				
連絡先				
備考				

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対  
としない。

- ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。
- 建設工事に係る対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。
- 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。
- 協議について  
建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

＜表－5＞工事区分表


注) 原則○印を適用する。

ただし、検査記載してある項目についての区分はその項目を必要とする場合(二者)に適用する。		健康	空	衛	界	環境	保	考
躯体関係								
1. RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通がブ材及び取付け	○	○	○	○			
	補強を要する型枠材及び取付け	○						
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○			防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の突出し	○	○	○	○			防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補強	○						
2. S・SRC造・はり貫通口	リブ・型枠の穴埋め	○	○	○	○			
	S・SRC造貫通縦管鋼管がブ・補強	○						
	使用されたリブの穴埋め	○	○	○	○			
3. 設備機器の基礎	予備リブの穴埋め	○	○	○	○			
	建築設計図に記入のあるもの	○						
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）	○	○	○				
	壁外・屋上の基礎	○						
	屋上基礎で押えコンクリートでない堅固なもの		○	○	○			
	機器取付け用アホ・梁台		○	○	○			
	屋内受水口の用の基礎	○						
仕上げ関係								
軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○						
	補強を要しないボードの切り込み		○	○	○			
	開口部の突出し		○	○	○			
電気関係								
電気配管配線	機器付属の制御盤以外の配管配線（接地線共）			○	○			二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線			○	○			一次側
	機器と付属機器の間の取付け及び導り配管配線			○	○			
その他（工事区分を特に聞かさない項目）								
天井の取付け	各種配管配線作業用	○	△	△	△			小規模は監督員と協議
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△			小規模は監督員と協議
流し台、ガス台、便所手洗いカウンター		○						衛生陶器は衛生設備
洗面化粧台					○			
誘導標識		○						誘導灯は電気設備
ガス漏れ警報器・可燃ガス					○			ガス漏れ火災警報設備は電気設備
運動スウィッチ	機器納入				○			
湯沸器	取付				○			
運動スウィッチ	機器納入				○			
取付	取付				○			
上記以外の電気器具スウィッチ	機器納入・取付				○			

＜表－６＞機器取付高

機器取付高は、下表を標準とする。ただし、監督員の指示により変更することがある。

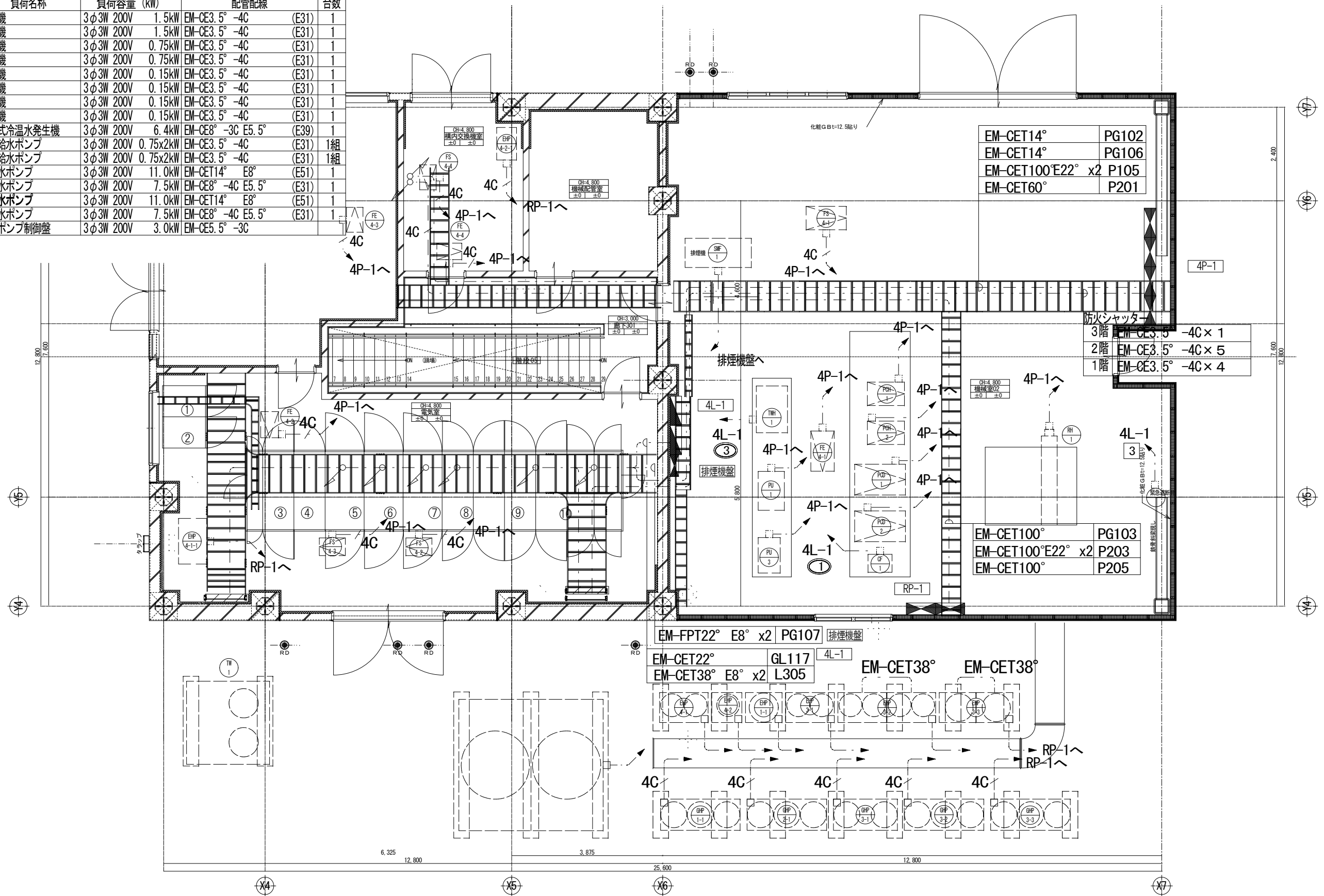
名称	測点	取付高 (mm)
電力共通 取引用計器 引込開閉器	地上・上端 "	※ 2,000 ※ 1,800
電灯 分電盤 タンプラスイッチ (一般) " (身障者用) コンセント (一般) " (和室) " (台上) ブラケット (一般) " (語場) " (鏡上) " (浴室) 非常照明器具用遮断器 避難口誘導灯 廊下通路誘導灯	床上・中心 " " " " 台上・中心 床上・中心 " " 鏡端・中心 床上・中心 - 床上・下端 床上・上端	※ 1,500 (上端1,900以下) ※ 1,300 ※ 900~1,000 ※ 300 ※ 200 ※ 150 ※ 2,100 ※ 2,500 ※ 150 ※ 天井高×0.9 ※ 1,200 ※ 1,500以上 ※ 1,000以下
動力 壁掛型制御盤 手元開閉器 操作スイッチ・押ボタン	床上・中心 " "	※ 1,500 ※ 1,500 (上端1,900以下) ※ 1,300
電話 室内端子壁 中間端子壁 保安器箱 壁掛位置ボックス (一般) " (和室)	床上・下端 床上・中心 " 床上・中心 "	※ 300 ※ 1,500 ※ 天井高×0.9 ※ 300 ※ 200
時計 壁掛形観時計 子時計	床上・中心 "	※ 1,500 (上端1,900以下) ※ 天井高×0.9
拡声 壁掛形スピーカー 壁付音量調整器	床上・中心 "	※ 天井高×0.9 ※ 1,300
表示・電鈴 表示盤 壁付発信器 ブザー・ベル 押ボタン (一般) " (身障者用)	床上・中心 " " " "	※ 天井高×0.9 ※ 1,300 ※ 天井高×0.9 ※ 1,300 900~1,000
インターホン 壁付インターホン 身体障害者用 壁付位置ボックス (一般) " (和室)	床上・中心 " " "	※ 1,300 ※ 1,000 ※ 300 ※ 200
テレビ 機器収容箱 テレビアウトレット (一般) " (和室)	床上・中心 " "	※ 1,500 ※ 300 ※ 200
火災報知器 受信機・副受信機 専用総合壁 発信器 ベル 消火栓・表示灯 試験器	床上・操作部 床上・中心 " " " "	※ 800~1,500  2,300 ※ 2,100 ※ 1,500
ガス検知器 LPガス用 都市ガス用	床上・上端 天井面・下端	※ 300以内 ※ 300以内

備考	 <b>有限会社 サクライ設計</b> 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(〒)第1925号 TEL 025-792-5386・FAX 792-9990 一級建築士登録 第242222号 管理建築士 浅井 守人		設計者等氏名	建築士登録番号等	工事名称	年月日	2024.08	図面番号	E-02
			板 健一	一級建築士登録 第212355号	魚沼市役所本庁舎冷温水発生機等増設新工事  電気設備特記仕様書 (その2)				
						図面名称	縮尺	FREE	構 機



4P-1 動力リスト表

記号	負荷名称	負荷容量 (kW)	配管配線	台数
FS-4-1	送風機	3φ3W 200V 1.5kW	EM-CE3.5° -4C (E31)	1
FE-4-1	排風機	3φ3W 200V 1.5kW	EM-CE3.5° -4C (E31)	1
FS-4-2	送風機	3φ3W 200V 0.75kW	EM-CE3.5° -4C (E31)	1
FE-4-2	排風機	3φ3W 200V 0.75kW	EM-CE3.5° -4C (E31)	1
FS-4-3	送風機	3φ3W 200V 0.15kW	EM-CE3.5° -4C (E31)	1
FE-4-3	排風機	3φ3W 200V 0.15kW	EM-CE3.5° -4C (E31)	1
FS-4-4	送風機	3φ3W 200V 0.15kW	EM-CE3.5° -4C (E31)	1
FE-4-4	排風機	3φ3W 200V 0.15kW	EM-CE3.5° -4C (E31)	1
RH-1	吸収式冷温水発生機	3φ3W 200V 6.4kW	EM-CE8° -3C E5.5° (E39)	1
PU-1	加圧給水ポンプ	3φ3W 200V 0.75x2kW	EM-CE3.5° -4C (E31)	1組
PU-3	加圧給水ポンプ	3φ3W 200V 0.75x2kW	EM-CE3.5° -4C (E31)	1組
PCD-1	冷却水ポンプ	3φ3W 200V 11.0kW	EM-CET14° E8° (E51)	1
PCH-1	冷温水ポンプ	3φ3W 200V 7.5kW	EM-CE8° -4C E5.5° (E31)	1
PCD-2	冷却水ポンプ	3φ3W 200V 11.0kW	EM-CET14° E8° (E51)	1
PCH-2	冷温水ポンプ	3φ3W 200V 7.5kW	EM-CE8° -4C E5.5° (E31)	1
	油中ポンプ制御盤	3φ3W 200V 3.0kW	EM-CE5.5° -3C	



4階（塔屋階）平面詳細図 S=1/100

